京城日報

甘六日夕刊
定價 一部金三錢 一ヶ月金六十五錢
發行兼編輯人 奥田直之介 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

◎段總理の辭表提出

段總理は二十四日孫總長罷免問題に關し辭表を提出したるが總統は直ちに却下したり（北京特電）

◎天津各國租界の嚴戒

天津佛租界擴張問題益々擴大し激烈なる國權擁護排佛運動は遂に北京に波及し形勢愈々不穩となり來りしを以て支那政府は萬一の變を慮り遂に天津各國租界の警備を嚴にするに至れり（北京電報）

◎羅國の要地又敵に歸す

マツケンゼン將軍麾下の獨勃軍はコンスタンザ陷落後チエルナヴオダに向ひ今や右兩地間鐵道線路上の要地メヂディア及びラソヴアを占領し右翼は敵軍がコンスタンザより移して新に軍需品供給地とせるカラムラトに到著せり（紐育電報）

◎羅軍豫定の退却か

ドブルヂヤに於ける羅軍の退却は策戰上の得策より出でたるものなりと（紐育電報）

◎墺國首相横死の前後

兇行者の自白＝次に暴動起る

墺國首相スツエルク伯の暗殺者オリードリツヒ、アドラ博士は三十二歳の青年にして社會黨の過激派に屬し又デルカムブ紙の主筆なり墺國に於けるリーブクネヒトを以て稱せられ其の妻は蒙古人種の血脈を引きたる露國人なり父ブリクトル、アドラ博士は社會黨溫和派の領袖にして現に下院議員たり兇行の當日首相スツエルク伯は午後一時三十分兇行場なるアイルス、ウンド、シヤドン、ホテルに來り賓客たるエーレンタイル男爵チロル州知事トツゲンブルグ伯音樂家ヤコブソン氏及び俳優一名と共に食卓に就きたるが二時頃一名の壯漢食堂に入り來りて其の附近の食卓に就き食事を濟まし勘定を支拂ひたる後猶少時食卓にありしが軈て三時に至りツカ〳〵と首相の面前に來り矢庭に拳銃を取り出し續け樣に三發を發射し第一彈は外れたるも次の二彈は首相の頭部に命中し卽死せしめたり此時エーレンタール及び給仕等は拳銃を捥ぎ取らんとして射撃され孰れも輕傷を負ひたり兇行者は直ちに捕縛されたるが原因として自白せる所に依れば首相が輿論を壓迫し開戰以來一度も議會を召集せざるに憤慨したるものにして此の事は豫てより政治界の問題となり各政黨間議論紛々たる有樣なりき●●●此報傳はると共に市中に暴動起りたるが警察の爲め鎭壓されたり（紐育電報）

◎李烈均退隱說

李烈均は重慶より廣東に來り隱退すべしとの說あり（上海電報）

◎補助貨の拂底

補助貨幣拂底し市內金融業者は尠からざる困難を感じつゝあり（東京電報）

◎滿鐵重役の覺悟

三線連絡運賃問題解決の如何により中村滿鐵總裁國澤副總裁以下の重役は總辭職をなすの覺悟にて除外例制定に關し極力運動中なり（東京電報）

◎南滿製糖創立

南滿洲製糖株式會社創立せられたり（東京電報）

◎軍人會遙拜式

在鄕軍人會京城分會にては來る三十一日天長節當日憲兵隊司令部內集會場前に於て遙拜式を行ふ筈にして目下協議中なるが擧行式は例年の如く午前十時に內定せりと

□御眞影拜戴

朝鮮に御下賜相成りたる天皇皇后兩陛下の御眞影は吉田總督府屬奉戴二十五日夜南大門驛著汽車にて到達、同驛に出迎へたる久芳人事課長等奉持護衛の下に直ちに總督府內に奉安せり、御眞影の內聖上陛下の御影は御二葉にして道は全羅北道管內公立學校に下賜あらせらる可く不日總督府より奉送の筈なり又皇后陛下の御眞影は御十五葉にして其の內御一葉は總督府本府に、御一葉は京城中學校に御一葉は釜山中學校に其の他は京畿道管內公立學校に各御一葉を下賜せらるゝことゝなり、二十六日山縣政務總監は松永京畿道長官及び柴崎京城中學校長を總督府に招き午前十時總督室に於て其の拜戴式を擧行せり、因に皇后陛下の御眞影は其の他鮮內各地の公立學校にも御下賜の筈なるが御調製の御都合上今回は前記御十五葉丈け下賜あらせられたるものなり

△京畿道の拜戴

京畿道管內に御下賜相成るべき皇后陛下の御眞影御十二葉は二十六日午前十時より總督府に於て山縣政務總監より松永道長官拜戴し更に十一時より京畿道廳にては第一應接室に於て道長官より其々の學校に對し傳達する所ありたり今回御下賜の分は京城の日出、櫻井、西大門、南大門、鍾路、龍山元町の七公立小學校、公立京城高等女學校、公立仁川尋常高等小學校、公立仁川高等女學校、水原開城の兩公立小學校等以上十二校にして京城かは金谷府尹仁川よりは久水府尹水原、開城は郡守京城仁川の兩高等女學校は成田、和田の兩校長出席し道長官より御眞影を拜戴し仁川側は直に汽車にて下仁し京城側は女學校は直接學校へ捧持し行きて式を行ひ小學校にありては零時半より京城府に於て七小學校長及び學校組合、府協議員其他の係員臨席の上拜戴式を行ひ一時より各學校長之を捧持し騎馬警官警護の下に各校に奉送し學校にても一時半より拜戴の式を行ひたり

△仁川の拜戴

今回仁川高等女學校及び同尋常高等小學校兩校に御下賜相成りたる皇后陛下御眞影は既報の通り二十六日久水府尹和田、中島兩校長京畿道廳に出頭奉戴し同日午後一時三十分扭峴驛御著兩校職員生徒學校組合議員等プラツトホームに整列奉迎女學校分は直に同校へ小學校分は府廳に途中警官嚴重警護の上御安著小學校分は府廳樓上に於て拜戴式を擧行せり

◎軍司令官出張

秋山軍司令官は步兵第三十九旅團幹部演習觀戰の爲め二十六日朝岡少佐を隨へ沙里院に向ひたり

◎山口司令官上京

鎭海要港部司令官山口海軍少將は管下狀況報告の爲驅逐艦朝霧に便乘佐世保を經て上京の途に就きたるが不在中は參謀長佐野大佐事務を代理すべく歸任は來る十一月十日前後なるべしと云ふ尙ほ聞所に依れば同司令官は二十七日海軍省にて開會さるべき將官進級會議に列席し十一月三日御擧行の立太子式にも東京に於て奉祝の筈なり（鎭海）

◎高等地查委員會

高等土地調查委員會は二十六日午後一時三十分より總督府第一會議室に山縣委員長以下第三部に屬する各委員出席、土地調查不服申請に關する件を協議決定の上三時散會したり

◎關野博士古墳調查

關野博士は二十六日順川郡に赴き同地方の古墳を調查し二十八日歸殿し谷井文學士等と共に大同郡林原兩地方の古蹟調查に從事すべしと（平壤）

◎兩醫官の滿州行

朝鮮總督府醫院醫官早野龍三氏及び同院醫員松本武一郎氏は學術研究の爲大連に出張を命ぜられ十一月二日出發の筈なり

◎故中村氏の光榮

江原道金剛山眞珠潭に於て殉職せる總督府山林課勤務中村技手に對し十七日附を以て判任官四級に昇任且つ特別慰勞として金四百圓を賜へり、因に同氏遺骨は石塚東拓總裁東上の序を以て携帶家族に引き渡さる可し

◎總裁東上期

東拓總裁石塚英藏氏は同社後任理事の銓衡其の他に關する要務を帶び來月上旬東上の筈なり

◎米國大使入京

駐日米國大使ガスリー氏は夫人同伴北京よりの歸途二十六日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに一泊の上二十七日朝同驛發汽車に搭乘南下の筈なり

▲安東縣驛通過

駐日米國大使ガスリー氏夫妻は北京視察の歸途二十六日午前七時二十分安東驛通過南行せり（安東縣特電）

◎兒玉翰長來期

內閣書記官長兒玉秀雄伯は夫人同伴十一月上旬來鮮の旨其の筋に通牒あり、要件は事務の引繼ぎなること勿論なるが特別大演習は目前に迫り各大臣は何れも陪觀仰せ付けらるゝ筈にて內閣殆んど空虛ならむとする折とて伯の滯京期は一兩日を出でざるものゝ如く引繼終了次第直ちに歸任す可し、因に伯の入京を聞ける官民有志は盛大なる送別會を催す可く目下計畫中なり

◎高橋武官東上

總督附武官高橋大佐は陸軍特別大演習陪觀の爲め二十七日午前八時三十分南大門驛發汽車にて東上の筈なり

◎大藤副官出發期

大藤總督副官は二十五日附を以て元帥副官に任ぜられしは既報の如くなるが氏は前總督の家財引き纏めを了し次第歸任の筈にて多分十月末迄には引き纏めを了り歸東の運びに至る可しと

◎趙韓兩氏歸京

朝鮮人側民間及び銀行家代表者として上京せし趙鎭泰及び韓相龍の二氏は廿六日午後九時南大門驛著にて歸京すとの通知某所に達したりと

◎東拓三理事

東洋拓殖會社理事として同社創設以來社務に盡瘁し來れる林市藏、井上孝哉の兩氏並に岩佐氏の後を享けし村田俊彥氏等は今春吉原、野田正副總裁辭表提出後野田副總裁の手許迄辭表を差出しゐたるが愈々總裁の更任も事實となりたる爲め三理事共近く辭任を聽許さるべく林、井上兩氏は東寵の如く早晩地方長官に任用され村田氏は東歸の上暫く悠遊の生活に入るべき模樣なり尙ほ後任理事は石塚新總裁の手にて詮衡中の由

◎朝郵定時總會

朝鮮郵船會社の第九期定時株主總會は二十六日午後一時より本社樓上にて開會出席株主百廿六人（委任狀共）株數五萬一千百八十五株にして原田社長席に就き例の如き決算案及び利益分配案（普通七分臨時二分）を附議して無事承認を得散會したるが、遞信局より伊藤事務官臨席せり

◎棉布の昂騰

三井物産の賣止め

棉布界は九十兩月の最盛需要期を過ぎ茲一服の商狀にて來るべき十二月の繁忙期を迎へんとしつゝあるが大體に於ける商況を聞くに本年は夙々傳へらるゝ如く米棉の作柄不良に付き買棉の出來榮も佳なるに拘はらず原料棉は▲大勢騰貴を續けつゝあると歐洲製品が戰亂の爲め東洋方面に入り來らざるより南洋印度地方に於ける日本製棉布の賣行きは頗る旺盛を呈し注文續到の現狀にあり傍々需要は生產供給量を多く超過し居る關係上朝鮮に於ける棉布の市價も春來上向き一方にて常に鮮內の標準市價となる東洋紡績製品三井扱ひ粗布三桑印の如き昨今の市價は一俵（二十反入り）運賃諸掛り一切を含め百六十八九圓所にあり乃ち之を一月の相場に比すれば俵六十圓高又既往に於て最も高値を示せる大正元年の百四十八圓に比するも尙ほ二十圓の上値を示し居れり然も一般の需要は▲累年漸增の趨勢を挫かず本年も京仁地方及び淸津會寧間島地方を主とし其の賣行きは可なるものあり加ふるに地方商人は均しく狀勢先高を見越し多少の手持品を有するに拘はらず尙ほ三井支店に頻々注文を發し來るより三井にては會社製品力の關係並に在鮮持越品の少なからず反つて朝鮮の相場は安値を現出し大阪との相場出合はざるを以て之れが調節の爲め二十五日より二十九日迄五日間斷然賣止めを發表したるが少なくとも卅日の解除日には大阪相場に▲運賃及び輸入税を課せる丈けの値を現はすべく恐らく四五圓方上り俵百七十四圓所を現出すべし尙ほ原棉は上述米棉不作の爲め昂上りの狀態にあり從つて棉布界も之れに伴ふべしと觀測されつゝあり

□碧巖會圓了

東都の禪界に嶄然と一頭地を拔き今日の禪風界掃に尠からぬ刺激を與へたる碧巖會は去る二十一日東京早川千吉郎氏邸に於て碧巖集第百則講了茲に講了圓成の茶會催されたる由なるが當日出席の德富蘇峰、大岡硯海、加藤正義の諸居士主唱となり更に第二次の講筵を開く計畫あり宗演禪師より本社の無佛居士へ左の如き書を寄せ來れり

前略創業以來特別の御盡力被下候碧巖會も去二十一日早川氏邸にて講了相成り十一年間擁護理井底の開筵業茲に圓成賀に祝著の至に御座候其日來會の德富、加藤、大岡の諸氏主唱にて第二次の講會計畫有之候餘は後便に附す

◎荷扱業者打合終了

京城商業會議所にて開會中なりし朝鮮郵船會社對各港荷扱店二十數氏の荷客取扱ひに關する打合せ會は二十五日終了せり

◎東大門小學校落札

公立東大門尋常小學校の新築に就ては二十五日公入札に附し開札の結果細見傳次郎氏へ三萬五千圓にて落札せり工事は直ちに著手年內に土工の全部を終る豫定なりと

◎澁澤男令孫の渡鮮

澁澤男令孫澁澤敬三氏は一高第一部學生にして今回滿鮮見學旅行の途次廿五日午前高麗丸にて著釜せるが出發地の東京なるより神仙爐檢疫所に收容せられ廿六日解放せられ朝鮮興業釜山支店長長瀧武司氏方宅に宿泊市中見學の上廿七日午前十時半にて北行大田を經て兩三日中に入京の筈なりと

◎訂正

廿六日朝刊『十一年前の朝鮮の官場』と題する記事の末段澤田牛磨氏が失脚して受刑者となると記せしは平渡信氏の誤信に付澤田氏の名譽の爲めに取消す同氏は目下大阪にて辯護士開業中なりと

仁川

▲支那視察談 仁川俱樂部にては二十六日午後六時より仁川ホテルに於て例會を催し席上大石、藤木兩商議評議員の支那視察談ありたり▲軍人分會奉祝遙拜 在鄕軍人仁川分會にては來る十一月三日午前十時より東公園に於て立太子式奉祝遙拜式を擧行すべし

咸興

▲咸興軍營工事 咸興軍營工事昨今の狀況を聞くに本年度建築家屋は既に二棟を七八步通り出來上り又地均し工事も略々整ひたるを以て本年は大體之れにて一先づ工事を中止し來春より大々的に工事の進捗を見るべく之れを當込み來住せる內鮮人は附近一帶に充住の有樣なるが一方軍營通路も大半出來し目下手押トロを用ひ工事を急ぎ居れば之れ又本年內には全部竣工するに至るべしと▲輕鐵引込線竣工期 咸興炭礦會社の經營になれる咸興西湖津間輕便鐵道咸興市街地引込線は過般既に其の敷設認可の指令に接し居れるを以て去る十九日入札に附し近々敷設工事に著手の上是非とも本年內に竣成せしむべき豫定なりと▲金融界活躍 客月中旬頃より漸次活躍を呈しつゝある咸興金融界は今や農產物の出廻期となり特に米、大豆等の內地及び沿岸地方に對する移出旺盛ならんとしたる爲め著しく緊張し來れる模樣なるが本年は大豆資金最も活潑なる可く米穀類は內地の豐作と咸興の相場高とに依り前年の如く資金活逆ならざらんも要するに金融界は例年になき繁忙を呈するなるべし

大邱

▲大豆移出旺盛 慶尙北道大邱に於ける大豆は昨今漸く出廻り增加し大邱驛を經て釜山又は內地には每日二十噸乃至三十噸以上の輸移出を見るべく而して本年は各地共豐作なれば値段は下落すべく朝鮮大豆は內地に於ても盛んに迎へらるゝ程品質優良にして上物六圓五六十錢中物六圓二三十錢下物六圓內外也と▲倭館米穀近況 慶北有數の米穀集散地なる京釜線倭館にては目下在米二千叺と註せられ氣配弱く晩合の姿なるが玄米十一圓五十錢を唱へ大豆は已に今朝に入り三萬叺以上の取引あり中六圓九十錢氣配保合底意强し▲輕鐵問題と永川 朝鮮輕鐵會社の企圖なる大邱慶州浦項間軌道敷設測量は著々進捗に連れ中間驛永川邑民は是非共該線の永川通過を熱望し已に其筋に請願書を提出したれどなほ善後策を講ずべく近々一大協議會を開く可しと▲補助貨拂底 近時大邱財界は金融比較的緩漫なるも補助貨の缺乏甚だしく商家は勿論各銀行共困難を極め居れるが原因は露貨鑄造の爲め朝鮮流通補助貨の鑄造遲延せるにあり朝鮮大邱支店は此の缺陷を補ふべく支拂は大部分一圓紙幣を以てし五圓、十圓紙幣の如きは取引者の希望あるにあらざれば拂出さゞる方針を採り居れり

人事消息

▲朝比奈貞英氏（會社員）二十六日朝入京朝鮮ホテルへ
▲ケプトレル氏（露國領事）二十六日朝歸京
▲阪田知海氏（總督府技師）二十六日朝出張內地へ
▲山本忠美氏（組合教會牧師）二十五日夜內地より南大門著歸京
▲早野龍三氏（總督府醫院醫官）學術研究の爲め十一月二日大連へ
▲松本武一郎氏（總督府醫院醫員）同上
▲安武千代吉氏（釜山辯護士）二十六日朝入京不知火へ
▲大垣丈夫氏（京通社長）二十五日夜東上
▲花井卓藏氏（法學博士）▲鵜澤聰明氏（同上）▲大井靜雄氏（辯護士）二十五日午前著釜同十時半大邱へ
▲篁屋勉氏▲金田秀太郎氏▲武藤稻太郎氏▲油谷堅藏氏▲米村靜雄氏▲矢島健夫氏（海軍省遣露將校）二十五日午後釜山上陸鮮滿急行にて長春に向ふ

□扁鬪より　大塊

角髮の手に植ゑし柿實の熟す
過去七年露に憂身の雫かな　九州 野人

次無佛陣人太華亭偶吟韻

臍石半千留進芳。太華亭開幾星霜。桑滄世態君休說。復是商人翰墨揚。

釜山方面愛讀者へ謹告

釜山支局長 加集甚

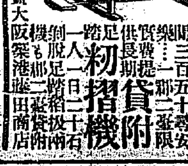
右は這回前支局長宮平敬治の後任として派遣致候間此段謹告仕候也

十月廿六日　京城日報社

明治公債株式會社 社員募集
京城黃金町 朝鮮支部
同所 朝鮮外事部
釜山幸町 釜山出張所
太田榮町 太田出張所
群山隅町 群山出張所
淸津敷島町 淸津出張所
平壤本町 平壤出張所
元山仲町 元山出張所
大邱三笠町 大邱出張所
木浦大成洞 木浦派出所
咸興大和町 咸興派出所

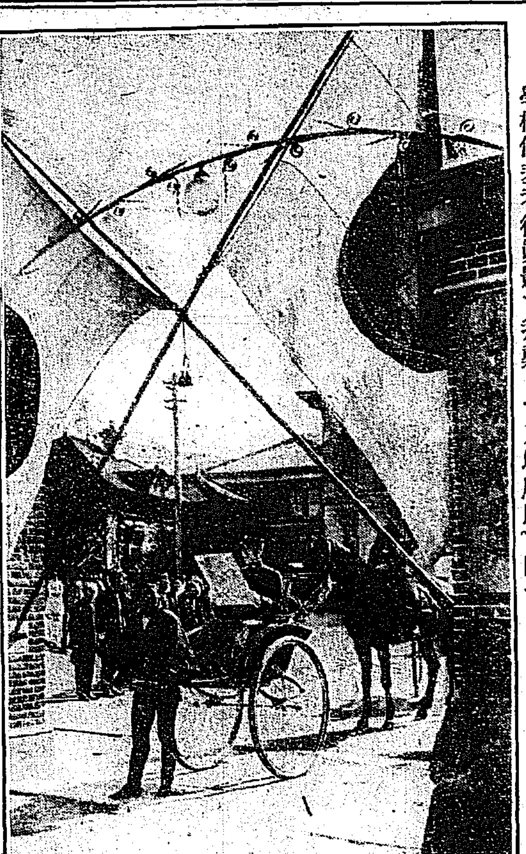
帝國在鄕軍人會京城分會
當分會秋季射擊大會開催に際し特に左の諸氏より賞品として金品を寄贈せられたるに付茲に感謝の意を表す
山縣政務總監殿 秋山軍司令官殿 立花師團長殿 古海警務總長殿 限部支部長殿 高野三省殿 シノサキ本店殿 瀧川銃砲店殿 淀屋帽子店殿 岡野洋雜貨店殿 夏川小間物店殿 シノサキ支店殿 澁谷商店殿 龜屋砂糖店殿 正午堂時計店殿 平井時計店殿 三越吳服店殿 東亞煙草株式會社殿 日本麥酒株式會社出張所殿 鈴木商店出張所殿 辻屋本店殿 山口吳服店殿 森川食料品店殿 藤富園太郎殿 大塚酒店殿 佐藤牧商店殿 山邑酒店殿 三巴酒店殿 前田酒店殿 首藤酒店殿 百合正宗酒店殿

盛花瓶華（入）秘法
旭東軒乾泰山先生著 小林溪泉先生 好評再版 定價[illegible]
秋の千草は野に山に咲き溢れ盛花投入の好古代本書に[illegible]
大阪 金正堂



細の細太三種 製繩自由 一時間三百五十尋 一人一日二十石 足踏 供賃費期長提 剝脫足踏稻扱兩機も郡二張貸附
籾摺機 貸附
說明書急送 發賣 大阪築港 藤田商店

信用ある 東京三金の特賣
ボックス製 長靴 長サ一尺三寸 金四圓八拾錢 一尺五寸 金五圓五拾錢
ボックス革製編上 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す
最新目錄 振代進呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇 振替東京一七一〇三番



學校代表者御眞影を拜戴して京城府廳を出づ

畏き御姿迎へ參らせて

嚴肅なる皇后陛下御眞影拜戴式

道回御下賜遊ばされたる 皇后陛下の御眞影拜戴式は二十六日午前十一時より

□京畿道廳に 於て擧行され京城府内の各小學校及び高等女學校仁川府内の小學校及び女學校共何れも府尹、郡守の代表者により拜戴式を行はれた、此の日京城府に於ては府内

□七小學校を 代表して金谷府尹がこれを拜戴し高等女學校は成田校長が拜戴し何れも十一時半嚴肅なる式を終つた、猶ほ各小學校長は京城府廳に參集府協議員、學校組合議員參列の上府尹の手より御眞影を拜戴し名學校それ〴〵嚴肅なる式を擧げた

□菊匂ふ校庭に

御聖德の訓話

京城高等女學校の御眞影拜戴式は二十六日午前十一時五十分より擧行され午後零時三十分恭しく式を終つた、此日成田校長は京畿道廳に御眞影を拜戴し

□騎馬の警衛 巡査を前驅として光化門通り、本町より南山町に腕車を驅れば職員並びに生徒一同は正門下の坂道に整列恭しく最敬禮の裡に御眞影をお迎へ申し上げた、斯くて御眞影は校内雨天體操場の

□式場に安置 され生徒一同の著席と共に恭しく拜戴式を開始された、式は君ケ代の唱歌から職員生徒の最敬禮の裡にいとも嚴肅に終了し、菊の香匂ふ校庭には白襟紋付の生徒達が

□今日の日を 祝ひ奉つたのであつた、成田校長の謹話によれば 皇后陛下の御影は昨年十月十八日に拜戴したが道回また 皇后陛下の御眞影を拜戴せるは畏し、御影は陛下最近の御尊影と思しく其の洋裝遊ばされたる

□御姿は一入 神々しく拜せらると猶ほ生徒一同に對しては 皇后陛下御聖德に就て校長より一場の訓話を試みた

御題詠進書式

十二月卅一日限

新年御題は廿三日を以て『遠山雪』と仰出されしが詠進は本年末卅一日限りの趣にて一人一首に限り料紙は小奉書、杉原紙又は美濃紙に限り宮内省御歌所宛に左の書式を以て差出す可しと云ふ

詠進書式

遠山雪	五	七	五	
	七	七		

堅詠 草五 ツ折

裏面書式 現住所 族籍 氏名

尚官職位勳學位爵等ある者は氏名の上に詳に之を記す可しとなり

獻上の「十六體書帖」

光榮ある海岡金圭鎭氏

京城長谷川町に書畫研究會を開いて内鮮人多數の研究生に筆法の教授をして居る海岡金圭鎭君は今度立太子の御慶として其熱誠を罩めて揮毫した『十六體書帖』を皇太子殿下に獻上することになつた、君は昨年の春

◇昌德宮からの御下命 で十種の竹を畫いたことがある、是れは立派な屏風に表裝されて李王殿下から 天皇陛下に獻上され無上の光榮を蒙つたことがある、君は今度十六體書帖を東宮殿下に獻上するに至つたことに就き謹愼の態度を以て語るやう『昨年の春昌德宮の御下命に依つて十種の竹を畫きました。處が此竹を立派な屏風に表裝されて李王殿下から畏くも

◇天皇陛下に御獻上に なり九重の雲深き邊に御嘉納になり無上の光榮として感泣して居りました次第であります、來る十一月三日に東宮殿下の立太子式が行はせらるゝことを拜しまして何か昨年の御禮に獻上したいと小宮李王職次官に伺ひますと東宮殿下に於かせられては目下御勉學中で在らせらるゝから何か書帖のやうなものを書いて、獻上したいとの御話でありましたから私の三十年來學び得ました十六の書體で書いた書帖を獻上しやうと決心しまして

◇沐浴齋戒の上數月前 から熱誠を罩めて書きましたのが今度獻上することになつた十六體書帖であります書帖は二冊都合六十枚から出來たもので其書體の頭に書體を錬り出した古人の名を書き添へて分り易いやうにしてあります其表裝の如き非常に注意いたしまして白桐の箱に納めましたのでこれが今度又獻上の手續が出來ましたのは無上の光榮として感泣して居る次第であります』と君は得意の風竹の掛物一幅をも白桐の箱に納め書帖と共に獻上することゝなりたりと

賊の足跡を趁うて (四)

農家の中庭で車座になつて食事=油布警部の談

七日の夜半頃昌城郡青山面龍田里で飼犬が非常に騷ぐ聲に洞民數名が起き出で、見たるに、何れも銃器を携へた一團の人が前に三四人少し離れて後から

▽五六人通行す るのを見受けたと言ひ、又七日の未明頃には青山面青山里で同樣の者を見たと洞民の申告もあつた青山面は兇行の場所から約十三里計り北方である、更に賊徒等が尚も北進してゐたといふ事は十日夜朔州郡外南面水龍洞の資産家崔乃錫方に強盗に侵入した一事で明白となつた、崔乃錫方は裏に山を背負ふた麓の二軒家である、外壁は厚い土塀を廻らし田舍には稀な瓦葺きの大きな建物である

▽家族は九名さ 別に附籍者四名を加へ十三名の多數である、崔は同日自衛團組織の爲め村民と協議の末夜半歸宅して見れば異樣な風采をした見慣れぬ多數の荒男が這入つて居るを見て則ち強盗が侵入したものだと判つたが普通白衣の朝鮮服を纏ふた長い漆黑の髭を蓄へた一人が首魁らしいのが家族全部を一室に召集し『俺は汝の宅位な僅かな物を強奪する者ではない十萬圓といふ大金を取る爲部下を率いて來たもので ある決して殺傷などはせないから安心せよ』と威嚴ある口調で言ひ渡した上部下の一部は見張りに立たせ他の者には室内の捜索を命じた、部下の者等は何れも下には朝鮮服を著用し上には

▽褐色の外套樣 のものを纏ひ、頭には同じ色の手拭樣のものを巻きつけてゐた、而して何れも銃を持ち布帛で縫ふた銃彈入れを左右兩肩から胸に十文字にあやどり倘許多の銃彈を所持し別に黑光りのする拳銃を各一挺宛携帶し其れに大きな布袋一個宛を引つ擔いでゐたといふことである、言語は何れも平安道訛りであること

▽地の利を明か に知つてゐる所から見て平安南北道人であらうと崔の申立てゞあつた、一人の部下が崔に出金を強要した際田舍の農家で金はないと答へたれば崔を毆打せんとした際首魁らしい件の長髯は之を制止したとのことである、賊等は崔の家で洗つてあつた四升許りの米を以て自身等で飯を炊いて食事をしたが中庭で七名車座になり、茶碗三個を外壁の邊りに持ち出して食つてゐたが此は四個付けてあつたと言へば賊の數は合計十一名であつたことが推察される

讃岐丸

獨潜航艇に追擊さる

讃岐丸は去る廿日英佛海峽を距る一日航程の海上にて獨潜航艇に追擊されしも無事なりし旨其筋に入電ありたり(東京電報)

筑波艦長危禍

筑波艦長吉岡範策氏は二十五日觀艦式陪觀の 天皇陛下を橫濱に奉送後新港橋上にて自動車海中に墜落し吉岡海軍大佐は微傷を負ひ運轉手は重傷を負へり

男は萍、摑まれて底へ底へ

龍山彌生遊廓の合意情死

男女共生命に別狀無し

二十六日午前五時半頃龍山彌生遊廓高砂樓事戶田安次郎方二階四疊半の一室にて同樓の抱へ娼妓と馴染遊客の兩名が同意の情死を企て

▲劇藥を仰ぎて 苦悶中を同樓の仲居棟塚はるが發見し彌生町遊廓病院より醫師驅付應急手當を加へしが兩名共幸に死に至らず急報に接し龍山分隊より係員警察醫出張檢視せしが女は同樓の抱妓百合子と言ひ男は福岡縣生當時釜山辨天町二丁目自轉車商井上某方の雇人高木正雄(二三)といふものにて百合子は以前釜山牧の島遊廓にて千江香と名乗り稼業中高木と馴染となりたるものらしく前記高砂へは本年七月初め向ふ三年六箇月の年期にて前借金三百八十圓を以て抱へられ鞍替へしたるものなり高木は去る二十三日釜山より京城に來り同夜より百合子の許に登樓し

▲三日間流連し 二十二圓餘の遊興をなしたり百合子は釜山より住替への際には衣類等も許多ありたるに其後思はしき收入もなき爲衣類雜品等迄殆んど入質し到底浮ぶ瀨の見込みなきを悲觀し近日の内に又々牧の島へ逆戻りの棲替へをなさんと既に抱主にも交渉する所ありたる程なるが其内其馴染の高木が來りて遊興の末百合子の身の上を聞きその

淚に動かされ遂に冥土の道伴れこなり 前記の次第に及びたるものと判明し取敢へず男は樓主に引渡して元町一丁目幾野醫院に女は彌生病院にて目下加療中なるが何れも生命に別條なかるべしと尚服用せしは百合子が釜山より持越したる洗滌用リゾールにして別に遺書等はなきもそれとなく朋輩等にも別れを告げたりと因みに男の方は樓主より雇主に直ちに打電し身柄の引取方を交渉中

岩本氏の容態

▼近日手術を行はん

二十二日拳銃にて自殺を企てたる株式仲買人岩本榮之助氏は二十五日夜來傷口の痛痒甚だしき爲め京都帝國大學醫科大學教授醫學博士猪子止才之助氏來阪診察の結果傷口化膿せるを發見し手術の必要あるを以て二十六日午前五時回生病院外科一等室七十九號に入院せり(大阪特電)

讀者文藝

([illegible])

▽物は付『感心なものは』

○獨逸の遣り繰り(一等) 京城 雷鳴生

△牛乳配達の鮮人醫學生 京城 松浜舟

△無名の寄附 太田 天望生

△戰場のはとの使 京城 みゆき

△噓の手習 龍山 肥子

△獨學で成功 義州 松月生

△若い者の寺詣り 平北 宮龍

投稿選及募集規定は欄外にあり

興味ある取組

合併相撲前景氣 大阪方の雪辱戰

東西合併相撲は前景氣盛んに愈々來る三十一日の天長節當日から晴天十日間大阪に於いて開場されるさうであるが、今春の合併相撲復活第一回の興行が大成功を收め得たるに續いて今回のは

故朝日山追善の意味

を含んでゐるとは言へ一般好角家が之れに聲援し力瘤を入れるのは兩協會の力士が何れも眞面目になり互ひに實力を盡して闘かふに至つたからである、それから好角家が今秋の合併相撲に興味を有つ理由としては二つある、その第一は此春の時に比較し双方の陣容に隔段の差が無い事だ、先づ東京方を見ると七月に京城に來た滿鮮巡業の出羽海組即ち西の海大錦の一行に越中の方を巡業してゐた友綱組太刀山伊勢の濱一行丈で今春太刀山以下四大關が堂々と轡を並べて押出したのに比するとその力は幾分弱いやうだ、之れに引換へ大阪方では小染川が腸窒扶斯で出場が覺束ない大錦(朝日山)朝日松、松の音、加古川の四大關は眦を決して遜へ擧たんとし二瀬川、千舟川その他

新進の元氣力士が多

く東京方の俊鋭に當らんとしつゝある、西の海大錦組には例の對馬ケ綾、栃木、兩、九州、源氏、宇都宮の如き豪の進中の目白押をしてゐるのに反して太刀、伊勢の組に至つては稍かに揭潮、十州とお天氣力士の寒玉子、瀨く敷島が居る位で頗る貧弱である、大阪方に對して一人一人合して行つて見ると頗るいゝ勝負が見られるだらうと思ふ、兩方を比較して伯仲してゐるとは言へないが稍その力が近いやうであるから必ず面白い結果が現れるだらうと想像する事が出來る、第二には春の合併以來大阪方は最負々々への手前もあり、大阪協會としての體面上、又故朝日山の追善といふ上から言つても發奮せずには居られない事になつて何れも從來曾つて見た事の無い程元氣になつてゐるといふし此の春の雪辱戰といふので

奮鬪する事も刮目し

て見るべきだらう、それに今度の合併相撲の新機軸としては東京方入間川の提案によつて物言ひ角力に對し檢査役が八百長と認めた場合には直ちに取直しを爲さしむる事、引分相撲に對しては妥協の形跡ありと認めた時は引分時間を經過するも斷じて引分としない事の二案を實行するさうだし、又休場力士に對する制裁方法も設けられたといふから此の點は好角家のために慶ぶべき大事だ、大阪方での元氣力士は何んと言つても四十三貫の巨軀を有する朝日松で大錦(朝日山)を凌がうとして居り、千舟川、西の森、時の矢を始め新進の宮木山に有若、朝千鳥、時ケ嶽、大達、大門、大嵐など中堅として大いに善闘するであらうが適度の

合併相撲十日間を通

じて最も興味を惹く取組は矢張朝日松對大錦(東京)の一番である、之は殆んど五分五分で何れとも團扇を揚げ兼ねるが今春の取組では大物言が付いて預かりにはなつたが相撲は確かに朝日松に利があつて今度の兩力士の取組は言はゞ遺恨相撲である、大錦、對大錦 の取組よりも却つて面白いだらうそれに東京方では孰れも朝日松を覗つてゐる模樣であるから同人の苦戰察するに餘りあるわけだがそれ丈興味は多いのである(太郎生)

—△會のいろ〳〵▽—

●日本基督教青年會 二十七日午後八時より同舘に於て英語倶樂部あり

●奉祝家族會 愛國婦人會朝鮮本部にては十一月三日立太子禮當日奉祝の意を表する爲め會員家族會を開催す可く目下着々計畫中なり

●京城柔道研究大會 本町署内京城柔道研究會に於ては來る十一月十二日第三回秋期大會を開催す可しと

●龍山擊劍大會 二十八日午後一時より龍山軍人倶樂部にて軍隊擊劍下士の擊劍大會を開催すべしと

圖書募集規程 ▲用紙は端書又は…

天氣 晴れ一時曇り (十二月廿七日)

銘仙はおぬや 京城本町電話八九〇番

木材 竹材・繩叺筵 穀物・セメント 商 咸鏡北道清津府賓町 伊東商會 「電話六二番」

一支那領豆滿江木材各種販賣

紅松杉松角材廿一尺以上三十六尺延丸太材各種入荷本年は各河川本支流共減水甚敷一本流しを以て流下し今後年内猶は數千本着荷す

當商會は千古未曾て斧鉞を加へざる汪清縣の大森林地域數ケ所に伐採場を特定し約三倍の運材費を投じ專ら雄幹良質の選伐を爲すが故に卓絶なる優良品として疾くに其名を識らるゝに至れり

價格は他品と大なる差なく徒に其聲の安きに似て製産額少なき不良材よりも採算上寧ろ利得なり

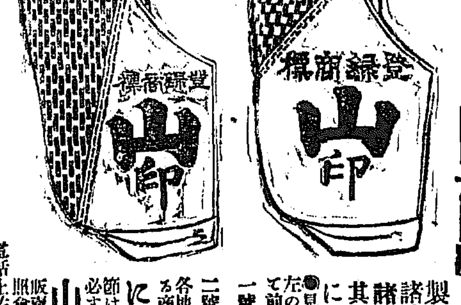
本年は更に數ケ所の伐採場を增設し紅松杉松落葉松白楊胡桃楸樹木槲楡其他の雜木も搬に搬出の準備を爲す

當商會は從來琿春土門出張所の外新に大阪市南區木津川一丁目に出張所を設置し内地は勿論海外輸出の目的を以て販路擴張に努む

御注文に依り短尺もの又は經三尺乃至五尺內外長四十尺前後又落葉松杉松紅松の丸太材は長八十尺迄の引受を辭せず尤も時種品は御注文にあらざれば伐採せず

一口貳拾五萬才以上の賣買に付ては特に割引をなす

比類なき耐久力ある 大阪 山西足袋



製材所、流材所、諸鑛山、各工夫、諸工場開墾用其他勞働者向に最も適當す

●見本御入用の方は左の通り振替貯金にて前金御送附あれ

一號品(郵稅共)金四十三錢

二號品(郵稅共)金四十五錢

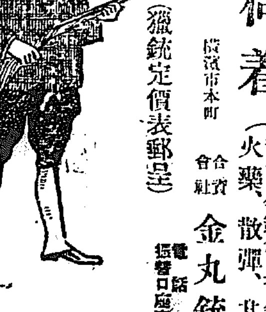
各地到る處の信用ある商店に販賣せり御買求の節は必ず山西製山印と御指定を乞ふ

にせ物あり

販賣御希望の方は御照會あれ相場表送呈

製造元 大阪京町堀通二丁目 振替口座大阪一〇五番 山西大阪足袋本店 電話土佐堀(長)一四四番

●舶來ストーブ新荷著 ●奉天製胴張ストーブ 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 振替京城二五六番 電話長四十番 二七七四番



鐵砲は橫濱の金丸に限る

新荷着 (和洋獵銃獵具、無煙裝彈、火藥、散彈、其他全備)

(獵銃定價表郵呈)

橫濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 電話一五五番 振替口座東京四〇七一番

鐵工業 造船業 船渠業

合資會社 中村組鐵工部 電話一六一番

猟天狗講話 ■鹿の巻■

朝鮮の鹿獵は夏に限るので有ります夏は日本なぞに見られざる法外なる價格があります冬の鹿は角と皮だけの代價で甚につまらん者です鹿は獐より少しく後れて落角するのであります五月は全部落角して終ふ是れも獐と同様雄鹿は兒を産むと

▽雄と離れて 終ふ五月落角して六月より新らしき袋角が芽生初めまして七月には稍大きく成り八月中に延びきり九月に入ると外皮の袋を破り堅き角と成ります其處で七八月中捕獲せんと何んにもならんのです凡て鮮人が藥用として鹿一頭の

▽袋角五六寸 延びたる者にて百圓位二尺五寸もあれば五六百圓高價に買ふのであります鮮人は此袋角は何病にも之以上の藥はないとしてゐるです毛もないにもない皮をかぶつて生長しゆくのでありますから色はぶどう色にて至極やはらかで中の角は

▽色白くして やはらか角と皮の間に血のかたまりの如きものがあります角もやはらかですから其のまゝ食うてしまうのです何もかも殘らず無駄なく食ふのだそうです扨此鹿をどうして獲るか是れは獐よりは少々六ケ敷です夏は山と云ふ山は

▽草木が繁茂 して居る殊に鹿の住む山は先づ以て高山の內でありますから草刈童子も入らんから草は六尺以上も延びて居つて人間の眼の先きに何者が居りても分らん位で遠くに居る者なぞとても見すかす事が出來んのであります共れで夏の鹿獵は

▽二人以上で なければ出來ません先づ第一山に登つて鹿の足跡を探すあちらこちらと草根を分けて探すと足跡が見當るそこで此足跡が雄であるか雌であるかを見分けなければなりません勿論兒の足跡が附近にあれば雌としてあきらめる只

▽一頭の足跡 とすると仲々六箇敷く雌の足跡なぞ追うて見ても何んにもならんそこでどうして是れを見分けるか

京城高等女學校御眞影拜戴式

◉御眞影拜戴式 二十六日南大門小學校にては皇后陛下御眞影拜戴式を執行せり猶は西大門小學校にても午後二時より同拜戴式を執行せり

神社と御寺と教會

○東本願寺（南山町）二十七日午前七時午後二時同七時より報恩講あり猶は御俗姓拜讀及批判あり

○仁川東本願寺 仁川寺町東本願寺にては例年の通り二十二日より二十八日迄宗祖大師報恩講を執行しつゝあるが布教師は學士松尾義法師の說教ある由

◆妓生がピアノ研究に
東京へ行く茶洞妓生組合の金明玉

茶洞妓生組合の妓生金明玉は今度音樂研究の振れ出して東京に往くことになつた「明玉は

◆美人 の産地で有名な平壤の産れで彼の地の妓生學校で妓生としての一通の修業を濟まして京城に來たのは丁度十五の春であつたそうして茶洞組合（一名無夫妓組合）の創設者の一人で廣橋妓生（從來官妓と稱せられて居つたもの）の向を張て艷名隠れなく今や京城の朝鮮花柳界を風靡して居る

◆今年 二十一で花柳界には珍らしい程の順なしい氣質でか弱い手一つで父母に事へ弟を教育して今日に至つたが弟の一人は今年の春普成學校の普通科を卒業して去る八月には東京に留學させたほどの篤志な妓生、今度東京行の目的は『ピアノを三四年間專門に學んで見たい』と云ふのであるが傍東京にある一人の弟を

◆監督 して見たい考もあるらしい今まで花柳界で自墮落な生活をして來たものがどうして東京あたりで規則正しき稽古が出來るかなど云ふものがあれば明玉は『それ位のことが出來なくて世の中に立てるものですか私だつて多少の自信と決心を持つて居ります』と云ふ

◆言葉 が通じないから困るだろう一寸した會話でも一年位は掛らねばなるまいと云へば『私は三箇月なら充分會話をして見る覺悟であります』なと云つて居る。

商況

東京株式特電
二十一日 前場寄付 大引

株式爆發す

債券現物特電
東京日出來値段（前日との比較）

公債直取引電特
東京二十六日出値段（前日との比較）

深川在米特電
二十六日現米高

東京期米特電
十二月限 前場 後場

大阪株式特電
二十六日前場 後場

大阪期米特電
二十六日前場

下關期米特電
二十六日前場 新古米共に氣配へ

雜報

澱粉産地高
近の産地情報によれば澱粉は其後益々好勢に向ひ更に輸出手口及思惑筋の出動に加へて大阪の生島が再度買氣を現はしたる結果遂に五百五十噸を買入れたれば一日と人氣は沸騰し激騰に赴きつゝあり…

◉金物材の昨今
中棒鐵類は既報の如き事情により本月初旬の相場に比し一二圓方の下落を示し居れるに反し鐵板類は其後引續き頑張の成行きを呈し殊に十三枚物は在荷の缺乏と季節に向ひ更に大阪の高値横なると同事に當地も此又一圓方を引上げ新値十八圓五十錢を唱ふるに至れり…

◉砂糖氣高し
十五錢浪板六尺一圓九十五錢

◉燐寸は引締歩調
十錢を主張 十二圓三四

◉精米依然不勢
十四圓四五十錢 見當 東京行 阪行

◉清酒高人氣

◉木炭は不味
六十錢處に弛

下關相場

仁川米豆取引所仲買人
㊝ 仲買店 電話長九〇五番 三六二五

各地商況
○木浦（二十四日の穀物）

京城正米

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場 廿五日

生魚市場

確實 迅速 ㋮ 廣澤正太郎
仁川海岸町 取引所仲買人 電話六五一番 六二二〇番

仁川期米
▲二十六日前場 天前寄十五圓十七錢と昨比一錢安 入電二節二十一錢 小高き

市場雜聞
▲依然動かず
▲前場の手振 手仕舞商內
▲能く賣る
▲市場閑散
▲期米目先觀
▲人氣は依然賣 嘉ひ風情
▲新規開業

仁川米豆取引所
廿六日の十二月限

賣買取組高

乾物小賣相場

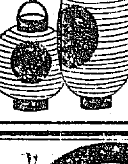
青物小賣相場

瀬戸 皮膚科外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

紀州本場

山西義一商店

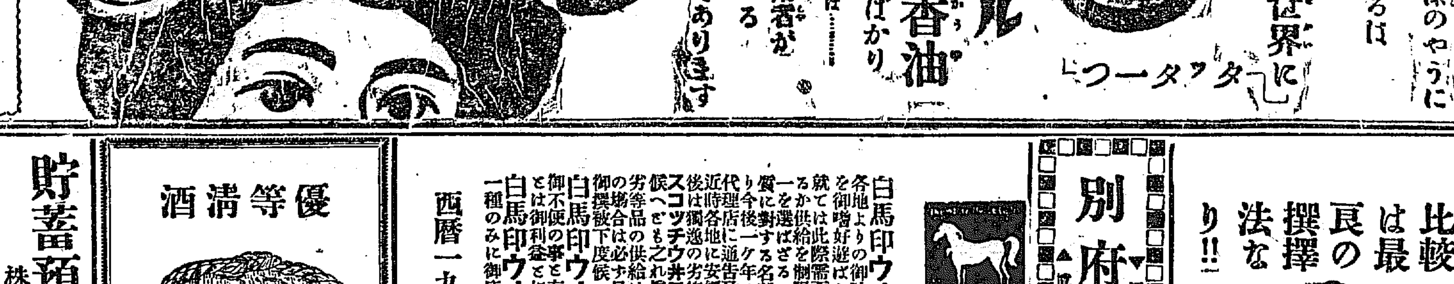
山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
內科 小兒科 花柳病科 眼科
呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作
（入院隨時） 尾形周太郎

立太子式奉祝の爲め大勉强仕候間多少共御用命被仰付度伏て奉願候

京城永樂町二丁目 石野商店 電話二五〇二番

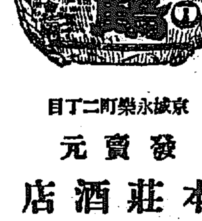
平壤栗卸
京城南大門外 池田商會 電話七五九番 振替口座二四七番

佐賀縣基里村 結核專門 古賀病院

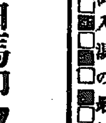
捕鳥用 カスミ網 製造
東京市下谷區北稻荷町 小木曾商店製網部



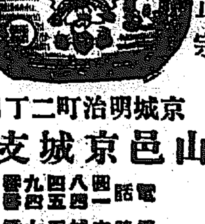
貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
同 龍山出張所
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ總テ御取扱可申候

優等清酒

京城永樂町二丁目
發賣元 本莊酒店

白馬印ウヰスキーは近時需要激増の結果今や瀕繁なる各地よりの御注文に應じ切れざる有樣と相成申候之れ偏に良品を御嗜好遊ばさるゝ各位の御引立に依ることにて厚く御禮申上候就ては此際需要の全部に應ずる爲め年若きウヰスキーを供給するか供給を制限して一部の需要に應ずるに止むるか何れか其の一を選ばざるべからざる場合に立ち至り候に付弊社に於ては品質に對する名聲と高年品の供給を持續する爲めに斷然後者を採り今後一ケ年の供給を半減することに決定致し其旨全世界の各代理店に通告致候
近時各地に安價なる劣等のウヰスキー再び市場に顯れ可申又和蘭に於ては既に昨今スコツチウヰスキーと稱して獨乙類似の品を安價にて賣出居り候へども之れ眞正のスコツチウヰスキーには無之候
劣等品の供給は自然取扱者の信用に係はる儀に有之各位御嗜用の場合は必ず品質を御吟味被下最も名聲品質の優れたるものを御撰被下度候
白馬印ウヰスキーの供給の所限は御愛用各位に幾分の御不便の事と存候へども一方小量の最良品を御用ひ遊ばさることは御利益と相成り候
白馬印ウヰスキーの品質は何時何れの處にても常に只一種のみに御座候
西暦一九一六年九月 英國グラスゴー マツキー釀造會社


白馬印ウヰスキー

別府温泉虎疫終熄
▼風光明媚秋色繪の如く▲
▲眞に御入湯の最好時季▲

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四八一 九四四 振替京城五七番

建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり
新義州常盤町 綠屋旅館 電話六四番
親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり

◉連絡船上陸客 廿五日午前

予報

宮本武藏

第百九十八回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

處へ遣つて來たのが宇野雲沖といふ醫者でございます、雲『ハイ今晩は、此方に講釋があると先程お人を下さいましたが、只今戻つて其の事を承はり拜聽に上りました誠に有難うございます』喜『オヤ先生お出なさい、能く來て下すつた、さア此方へ、今櫻井の驛の親子別れといふを一席伺つたが』雲『それは惜しいことをいたしました』喜『然し折角お出なすつたのであるから今一席何か願ひませう』雲沖は喜左衞門の側に坐つたが曉雲の樣子を見て、喜左衞門を伴れて次の室に引退り雲『お名主、其下はあの方々を何と思つてお在なさるので』喜『江戸から來た儒者と醫工の先生で』雲『イヤ大違ひ、私は暫く江戸に居りまして能く存じて居りますが、あの高坐に上つてお在なさるお方は六萬石の諸侯水野日向守といふお方で、又あの醫工の先生といふは元小笠原の家來當時細川にお抱へになつた劍術の先生宮本武藏といふお方であります』喜『それでは豫て話しに聞いた巖流島で佐々木岩柳を討取つたといふ宮本先生でございましたか』雲『イヤ然ういふ方々に講釋などを讀しては洵に相濟ぬ譯、是は早速お詫をなさい』と聞いて喜左衞門驚いた喜『イヤ知らぬことゝは云ひながらとんだことを願ひましたお詫をいたしませう』と喜左衞門雲沖の兩人が高座の前に參つて手を突き喜『ヘエー、恐入り奉ります、御身分あるお方樣とは存ぜず重々の御無禮を仕り何とも御詫のいたし樣もなく何うぞ高座よりお下り下さいまする樣』曉『イヤ是から今一席講じやうと思つて居る處で』喜『何う仕りまして何うぞお止り下さいまし』曉『喜左衞門吾々共の身分が知れたか』喜『是なる雲沖が江戸表に於て餘所ながらお見受け申したといふことでございます』曉『イヤ雲沖とやらお前が此方共を知つて居つたのか』雲『左樣にござります』曉『此度は內々にて奧州路を旅行いたす、斯樣なことをして歩くといふも一つの樂み、然し身分が知れて見れば當所に居る譯にも叶ん、早々明日は出立をいたすであらう』と玆で其の翌日此の信夫郡名主喜左衞門方を出立いたしましてそれより奧州二本松へ出ました、此の二本松は先頭まで二本松右京太夫の居城であつた、此の右京太夫は奧州仙臺の伊達輝宗と度々戰を交へましたが、右京太夫一計を案じ、輝宗方へ僞りの和睦を申し入れますと、輝宗は眞と思つて承知いたし、乃で双方和睦といふ處へ出張に及び此處で兩大將對面をいたして和談を取結ぶのである、處が素より計略のことであるから右京太夫は敵陣へ飛込み突如床几に凭つて居る輝宗を小脇に抱へ短刀を拔いて輝宗の胸元へ突付け右『ヤア／＼汝等我に手逆ひいたさば此の輝宗を一と刺にいたすぞ』と云はれて誰一人手を附けるものもない、處へ注進を聞いて飛んで來たは輝宗の子息藤五郎政宗恰度此時に山獵に行つて居た折で、知らせを聞いて驚き蒐來つて見ると、右京太夫が父輝宗を小脇に抱込んで已れが陣へ伴れて行く樣子、藤五郎は最早是までと思ひまして持つて居た鐵砲を取直し右京太夫を目懸けてズドンと一發狙ひは違はず、脇腹から射貫いたが然し抱へて居つた故父の輝宗も共に一彈にて打殺しました、それより父の弔合戰をいたして二本松の城を乘取つてしまひました、それゆゑ當時は伊達大膳太夫政宗の領地となつて居ります、曉雲二天の兩人は此の二本松の城下に參り若宮八幡に參詣をして此處に泊り翌日此の二本松を出立いたして、福島驛を指して參りました。

入院隨意 京城南大門通三丁目(鮮不商店横入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

南山町三丁目巴城館通 電話二九二〇 齒科診療 橋本齒科醫院 齒科醫學士 橋本清次郎

歸へるぬしより 木村屋パンの 京城みやげが待ちかねる (京城明治町 電話一八七〇) 市內に同名のパン屋あるも當店と何等關係なし

十月廿八日九星 舊十月二日戊戌 木命八白 良 建 大安

▲八白 雲崩込主義の事有る日 新事見合東方は吉 晴朝良 ▲九紫 錦衣登殿の日 轉居入學金件名弘求職綠上婚禮土工請負等皆吉 ▲一白 辻難のあは時有る日 新事手控 萬事隙取は妨なし ▲二黑 力を費て損となる有日 新事手控 萬事は吉 [illegible]

アスパラ殺虫劑 能書進呈 かならノ害虫ヲ退治ス ル事妙ナリ小鑵郵税共 廿三錢 ●特約店募集 大阪北區梅田新道 振替大阪二八五八五番 噴霧器ノ種々 久保田農具店

てんかん 病で時々 ヒキツケ困る方切手三錢送れ永年の病も自宅でなをす最善の良藥を教ゆ 名古屋市中區南小川町 ・攷生館

らい病 妙藥を教ゆ切手二錢送れ 大阪南區西清水町四九 山田光治郎

演藝案內

黃金館 朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)

十月二十六日より特別大興行 ▲喜劇トン君の智惠 ▲ユニヴーサル會社傑作東京萬朝報連載 世界的探偵奇譚 黑い箱 全十五編三十卷續き 奇怪なる黑い箱…不思議なる二本の手?不可解の人類學者エドガー博士…先天的犯罪學者エクスト探偵…現米國ユニヴーサル市長ハパート、ローリンソン氏之を以て活躍せる [illegible] 第一回上場六卷 梗概 第一編旅館の怪事件、第二編不思議な手、第三編懷中無線電信機 [illegible] ○德川家康と血槍九郎 [illegible] 澤村四郎五郎、市川莚十郎、尾上紋十郎一座大合同撮映 ○校の音 全十場

本廿六日より上場 新派悲劇 なぎさ 舊劇 有馬の怪猫 冒險活劇 跡追ふ影 本町 有樂館

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

△十月二十四日より提供の大寫眞 ○滑稽マックスの武裝 ○實寫エルサレムの風景 ○喜劇僞看護士の失敗 ▲泰西活劇『鐵の冠』(全三卷) 英國アンニル會社傑作 ▲立花貞二郎、秋月邦武一派出演 ◎新派大活悲劇『將軍の娘』(全四卷) [illegible] ▲井上松之助一派出演 ◎舊劇『三人吉三』(全三卷) [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約

△十月二十六日より優秀なる新寫眞提供 △實寫アルプス山公道旅行 △喜劇新馬鹿大將給仕の卷 △滑稽飛んだ寫眞 △山崎長之輔一座出演 ○新派悲劇 なぎさ(全二卷最大長尺) △平和の家庭に風波を卷き起す惡漢 [illegible] ○大冒險大活劇『跡追ふ影』(全五卷) [illegible] ◎舊劇有馬の怪猫(全五卷) [illegible]

御成座 成町 電話一九一番

△第五回新劇 (一)雲間之月 (二)喜劇やかすむこ(全二場) (三) [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇

○二葉會主催長唄大會 △廿七日午後五時より △番組 [illegible]

ロート目藥 懸賞當籤發表

ロート目藥懸賞答案に對し十月十六日大阪朝日新聞大阪毎日新聞大阪時事新報大阪新報四社員立會の下に嚴正なる抽籤を擧行したる結果當籤者左記の通り決定す、

壹等 貯蓄債券 一枚宛二人
北海道勇拂郡厚眞村ウクル池沢定次郎
大阪府泉南郡佐野町內田町田中梅五郎

貳等 銀側腕卷時計 一個宛 五人
[illegible]

參等 懷中紙入 一個宛 二十人
[illegible]

四等 モスリン風呂敷 一枚宛 五十人
五等 優等銀貨入 一個宛 百人
當籤者多數に付以下氏名を略す但し當籤者には全部通知の上賞品を發送せり
大阪市南久寶寺町二丁目 ロート目藥本舖 山田安民藥房

井上博士 ロート目藥

十二指腸病 大邱府東城町 電話四六三番 水田藥院 說明書は往復葉書にて申込次第進呈

蛇印 アンチピリン丸 かぜ ねつ 最良藥 早く治る藥 よくキク藥 本舖 大阪東京 丹平商會 さむけ・出で發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時本丸を服せば不思議の効あり(價十錢、十五錢、廿五錢)にせ物有り蛇の商標に御注意

產婦人科 本院 京城旭町一丁目 電話一三四〇番 診察午前 分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午後 中央婦人病院 院主 衣笠茂

月刊商報發行送呈 釜山本町三 近藤商店 振三五八 電七六八 日鮮雜貨 鍋釜金物 卸問屋

釜山 著名商店

於施政五年共進會 銀牌受領 石拔唐箕 改良唐箕 萬石通 千石通 籾摺臼 各種 製造販賣 朝鮮勸農商會 釜山本町二丁目 電話二九六 振替京城一五四八

味の素 朝鮮特約店 洋酒罐詰 商 あづまや商店 釜山辨天町

各物品 雜貨の御仕入へ 問屋の中の問屋なる 釜山 明治屋本店に限る 二丁目 [illegible]

商報送呈 カーバイド ダイヤ印燒酎 アルコール 福榮商會 釜山 電話三三九

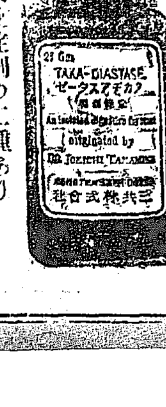
內外 雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番

洋酒罐詰 銘茶 砂糖 石油 煙草 荷札 卸問屋 釜山辨天町 ビワコ屋 電話七〇 振替京城一六〇五五番 (月刊物價表發行)

CONFECTIONARY WINE PROVITIONS DEALER 洋菓子 洋酒 食料品 卸商 英米煙草 ミトヤ商店 電話64 [illegible]

◎青竹 入船 釜山港 島末材木店

タカヂアスターゼ



高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり 類似模造品を本劑と同一強度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

本劑は粉末及錠劑の二種あり ●本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町 三共株式會社

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五 二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇 四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五 五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、二二	四、三七 七、二八

ハカリ印 油斷大敵!

かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。

大阪田口のヘブリン丸を ハカリ印のヘブリン丸と改稱

實用靴 改良靴 萬年靴

◎頑丈一點張 壽命知らず龜田の萬年靴 ▲二重底で其の上獨逸鋲が打て有り丈夫なる事普通靴の比に非ず ▲一金四圓也……短靴 一金參圓八拾錢……編上靴 ▲御注文の節は白紙を踏みたる周圍を筆にて御足の寫形を畫き又正確なる足袋文數御通知の事 營業品目錄す法用紙御報次第進呈

東京市芝區愛宕下町四丁目一番地 龜田靴店 電話芝三一二〇 振替東京四二七八

京城日報
第三版
廿七日朝刊 夕刊と合せて八頁
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾錢 郵税共壹ヶ月金... 前金に限る ... 郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金壹圓五拾錢 ▲三號活字 ... 所指定一行金貳拾錢增 ... 活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用四五番 營業用三二六番 ... 振替貯金口座京城三〇〇番

下關期米特電

▲二十六日後場 兵庫後寄十三圓... 五錢 大阪前引十五圓二十... 後寄米券高地當十二圓四十五錢 ... 一圓七十八錢と同時に寄付九錢と ... 入電にて ... 三圓と返り ... 入氣は未だ ... より見れば依然堅硬の成行を示し居れるより見れば尙ほ一段の高値あるやに想はれるが果して如何 ... 其他より賣物現はれ ... 入氣に ... と上伸したるが戾りは又… 其他より ... 十錢と押し大阪正高を受けて再び ... 會ひ出けたり市況は大阪の好調 ... 於横濱の見込りに伸びず一般の ... なきた探消も居ると大阪の高さ

△變動未だし 當地の形勢は前報せし如く頭鉱の一 ... 大田新米十一圓八十五錢 ... 十一圓七十錢 ... て八九百叺出來たり ... 保合を唱へ居れり ▲後場 ... 先限 ... 十二圓四十五錢 ... 出來高五十石 ... 十一圓七十八錢 ... 八錢九錢 ... 七十九錢

出來高 一萬二千百五十石
格 正 寄付 十一圓七十九錢 十一圓七十九錢

◉爆藥密賣犯人捕はる 山口縣佐波郡中の關生れ當時釜山南濱町二丁目 ... 入又は天井裏に隱し置きたること發覺し懲役四月に處せられ目下釜山監獄に服役中なるが一方南濱町は爲在を

京城日報 東歐の形勢

歐羅巴大陸の戰線は、最早膠々しき戰關なく、聯合軍再び兵を用ふべからず、此冬期に於ける戰爭は專ら東歐羅巴に於て、行はるゝものと解するを得べきなり。

聯合國は英佛軍西部戰線に於て勝ち、露軍ガリシアより進みて、トランシルヴアニアを席捲するの勢を示すや東歐諸國風を臨みて披靡するの情あり、羅馬尼先づ起つて、其兵をトランシルヴアニアに出し、露軍と相依りて、獨墺軍を驅逐す。此時に當りて、天下皆希臘の、必ず聯合軍に與みして起つべきを期待したり。然るに其後、羅馬尼軍敗れて、其國內に退き、獨墺軍勃土軍交々、羅馬尼首都を衝くの形を成し、希臘亦遂に起ちて、聯合軍に應ずるを爲さず。併ながら今や、希臘の運命は、殆ど定まれり、彼自ら起つて、聯合軍に應せずむば、聯合軍は、希臘の國土を支配して、其自衛上の必要手段を取るに至るべきや勿論なり。希臘は一昨年、歐洲戰役開始以來、局外中立國たり。然れども伊太利、塞爾利亞、土耳其其他諸國皆交戰者たるの時に當りて、希臘獨り其局外中立を、嚴守するといふことは、事實上不可能事なり。昨年英、佛、露、聯諸國軍、サロニカに據り、東歐方面の策源地と爲し、此度は更に聯合軍の雅典を占領するあり、此上東歐戰爭劇甚を加ふるあらば、希臘の全土を擧げて、交戰區域に入ることなきを保せず、近東聯合軍側は、大に其力をサロニカに集注し、大衆獨墺土勃諸軍を衝き、北方より進み來れる露軍と相應じて、一大決戰を試むべきことを傳ふるあり、最近聯合軍の希臘に對する行動は、則ち其準備と見るを得べきなり。

昨今羅馬尼軍の捷報頻々たり、併しながら未だ大に其力を伸ぶるに至らざるなり。聯合軍の大局より云はゞ、羅馬尼の使命は、先づ勃牙利を衝いて、其首都を奪ひ、獨墺と土耳其との連絡を斷つにあり。然るに其計此に出でずして、却て先づ其兵をトランシルヴアニアに出し、寸壤尺土を得て、暫く自ら喜ばむとす、是れ同地は羅馬尼人の居るところにして、同人種の所在地を奄有して、以て其國民的自負心を滿たさむとす、人情固より然るべしと雖も、作戰上其計を得たりと云ふべからず、特に戰つて勝つを得ば、其局面は一轉することあるべしと雖も、一敗して自ら退きては、其事復た言ふに足らず、從て若し此まゝに推移せば、獨墺軍は長驅して、羅都ブカレストに迫るべきなり、乃ち今日に於て、聯合軍の羅馬尼を救護するの計只二あり。其一は聯合軍大擧して、希臘より猛進し、敵軍をして形風し、勢ひ窮り、復た爲すある能はざらしむること是れなり。其二は、露軍奮進して、墺洪軍を驅逐し、敵をして羅馬尼を窺ふに遑なからしむること是れなり。二者其一に成功することなくむば、東歐羅巴の形勢は、遂に挽回すべからず。

安奉線距離比例主義に贊す(四)
三線問題に就て
安東縣日陞公司 金井佐次氏寄

△贊成の理由(三)

○除外例を設くるは不可なること、○○○○○○○○

既に滿洲連絡の交通路貫通せる今日に於て可及的低廉なる運賃を以て貨物輸送に應ずは鮮滿經濟上至に機宜を得たりと云ふべし、而して此三線連絡に依り奉天以北の特産物を永久に輸送し得べき經濟的範圍は山陽九州の一部に過ぎずして大連及び滿鐵に大なる惡影響を及ぼすものにあらざるは前說の如し、然るに此の制度に除外例を設け重要なる或品目を限り之を圏外に置かんとするの議は大に了解に苦む處なり、何となれば比較的高價なる日本よりの輸入貨物に付ては安東縣に於ける國境關稅三分の一減の關係上三線經由を有利とするは論議の餘地なく世人も亦斯く認め居るが如きを以て輸出貨物につき一言せんに、滿洲重要物産の大宗たる高粱、玉蜀黍、豆油の如きは母國の需要殆んど皆無にして其大部は第三國輸出の仲繼上神戸等に仕向けらるゝものなるを以て除外の問題とならず、○○○○○○となるは大豆、豆粕の二種に過ぎざればなり、即ち九州山陽の一部に對し仕向けらるべき貨物の大部も亦同じく此の二種なるを以て、今之を除外し新制度の利便に預る能はざるものとせば如何なる品目が此の恩惠に浴し得べきか、殆んど指摘に價せざる零碎なる少量貨物が之れに浴したりとて大勢の上に何の影響かあらん。要するに除外例を設くるは全く本制度の効用を沒却し無意義のものに去勢するものと謂はざるべからず。

最近日本向け輸出の南滿大豆が減少の傾向あるに反し北滿大豆の浦鹽港より日本に仕向けらるゝもの追年非常なる增加を示し本年の如きは一層其需要を激增し横濱四日市神戸門司等到る處多く之を輸入するに至れり門司の如きは距離其他の關係より當然南滿大豆の供給を受くべきものにして當業者も亦之を熟察しつゝあるに拘らず斯の如き結果を見るに至れるは全く浦鹽港の廉價なるに起因すとは言へ一つは又海港運賃制度に依り安奉線に於ける短距離輸送の自然的良路を塞ぎあるの結果に外ならず又豆粕の如きも北滿に於ては種々の法令を發布し之れが製造を獎勵し近時漸く增加の氣運を開きたるものゝ如く殊に浦鹽當局が夙に浦鹽商港擴張の急務を認め現在の十四艘用棧頭をして汽船四十艘用となすべく既に去る千九百十四年度より起工することとなり居りしが如き是等は孰れも我國の勢力範圍たる滿蒙の貿易上等閑に附すべからざる大問題にあらずや抑も本制度の實施は假令滿撫を北滿に擴張して其產物を吸收し能はずとするも他國の對滿貿易をして對南滿貿易に轉換せしむるものなり然るに大連及び滿鐵の蒙る影響を過重視して除外例を設け自然に流用さるべき一部貨物を強て大連を迂廻經由せしめんとするは實に滿蒙對母國の貿易を阻害するのみならず延ては我帝國の商業區域をも北滿浦鹽等に歸向せしむるものなり

之を要するに數十年以前に於ける神戸港を以て現今の大連港と假定し一例を擧ぐれば本問題は直ちに其當否を判斷し得べし

乃ち神戸を大連とせば山陽線は恰も安奉線及び朝鮮線に該當し神戸以東は正に滿洲奧地に當り而して下關は釜山に關門連絡は關釜連絡に相當すべし此場合に於て神戸を保護せんが爲め山陽線に高率運賃を課して山陽及び九州に發着する貨物にして強て神戸港より船便に依り瀨戸內海を經由せしめつゝありとせんか之れが爲め神戸港としては若干の好況を呈するも山陽沿線及び九州に於ける經濟的貨物の大なるに比較せば其及ばざること遠しと謂はざるべからず加之本年の如き海運界未曾有の時代に遭遇せんか山陽九州(大連以北滿洲奧地に達すべきが如く神戸以東に達すべきものと假定せば)の蒙る惡影響は寔に餘りありと云ふべく山陽沿線の產業發達を拘束すること亦甚しからざるなり。

而して此山陽沿線の地位にある鮮滿安奉の沿線殊に我安東縣は今將に開港運賃制の爲め其發展を拘束せられつゝあるものなり、故に吾人は安奉線距離比例主義なるものを以て三線連絡のみに決定せず更に十步を進めて安奉線及び朝鮮線にも之を適用してこそ日鮮滿貿易上に資すること多大なるを信じ聊か意見を有するも本項に就ては他日改めて述ぶるところあるべし。(大正五年十月十五日)

朝鮮の古城郭(六)
八木奘三郎

(四)歴代城郭の變遷(承前)

(乙)三國時代の城郭「其三(新羅)」第二に述ぶ可きは彼の慶州城外の古墳群にて、此遺迹は何人か古村時代と稱せし爲め、常に金城自前と認められ、絶えず其說に縛せられて他の考證の害を爲せり、予は世人に右の時代を問はるゝに際し、平素古墳沿革史の上より見て、新羅最盛時代のものなりと答へ置けり、其理由は茲に述ぶる暇なきも、要するに始祖を假りに新羅の初期とすれば、皆な其後の築造にして、是等は他の遺跡の調査上、住居地の南方に置くは異例にして、普通北方、若くは居地の裏側横側等に當る方面に置くことを常とせり、而して金城を南山麓の西北方に在りとせば、前記の古墳群は其北方又は郭後の北東方に當れば城郭正面には何等の影響なし、故に斯る點より推考するも金城の兒山江畔即ち南山寄りの西北部と見るを適當なる可し。

但し始林の記事によれば、夜聞金城西「始林」樹間「有鶏鳴聲」とありて其始林なるものは現今、月城の西に存する爲め、聊か疑惑を生ずれども是等は東の誤りか、或は位置の變更にや出しなる可く、從て重きを置くに必要なきに似たり、唯だ其兩立を欲する場合は西を東の誤字と見ること最も穩當なる解釋なる可し。

次に金城の形狀、門數、宮室、民家等の略を目ふに、當城の形狀は先づ方形なる可しと考ふ、何となれば他に半月城、滿月城等の名あるに係はらず、本城は別に形狀を目はず、且つ築城の始めは概して先進國の風を直寫するが常にて、新羅は必ずや漢の浪人より其術を學びしか、若くは右を模倣せしこと疑ひなく、又此築城は已に三韓時代より行はれし觀あれば、當時國家の都城として第一に築きしものは恐らく漢式の形狀を取りしなる可く、又地理誌の文意に於ても其長方形なりしことを推するに足れり、而して周圍の城壁は無論土築なる可く、其上には更に柵を設けて敵兵の侵入を防ぎしなる可し、次に城門の數は判然せざるも、各條を綜合して考ふれば東西南北に四門を置くことは確かにて、其中西門の火災には人家百餘戸を燒失すとあれば、當時家屋の櫛比したる狀を知ると同時に、此方面は一の大手口ならんかと思はるゝなり、又眞平王は南門に御して射を觀ることあるに依り、是等の四門には樓を置しが如くに推せらる、何となれば金城の如く屢ば敵兵の攻撃を受くるものは門上に樓を置かざれば防禦上困難なるのみならず、又敵の動靜を知るにも不便なりし故に玆には日本の「ヤグラ」支那の城樓に似たる建物を設け、王は此上に御して射を一覽せしものなる可し、次に宮室は赫居世の二十六年金城に營むと記せし外(「宮東に池あり」池畔に柳を種ゑしことを書す)歴代の重修增築等不明なれ共、文武王の十四年には宮內に池を穿ち、山を造り、花草を種ゑ、珍禽奇獸を養ひしことを記し、又同十九年には重ねて宮闕を修革し、頗る壯麗を極むとあれば、古來幾回か改築變更せしことは疑ひなきに似たり。

黃海道の鑛山
三・樂山鑛山
鶴嘴生

△山紫水明の地 樂山鑛山の事務所が長淵郡樂道面の五里洞から劉村に移轉したのはツイ先達ての事で此處に第二精錬所を設置した結果である、此處は信川から七里、松禾から二里半、長淵へ二里の地點に在つて長淵郡役所並に長淵憲兵分遣所の管轄となつてゐる。素より山又山の中だから淋しくもあり不便でもあるが地は高く氣は淸く非常な健康地であるのみならず、其の前面には流れ絶えせぬ王樂の淸溪が潺湲の響を傳へ山容水態却々に捨て難い風致がある。

△鑛區約四百萬坪 現在の鑛區は龍水、五里、王樂の三區に分れ龍水は九十九萬九千坪、五里は八十七萬四千八百九十四坪、王樂は九十四萬百三十四坪で、合計二百八十一萬四千餘坪といふ少なからぬ面積を占めてゐるが尚ほ松禾の溫泉附近で六十二萬五千坪と、或る區の增坪五十一萬坪と計百十二萬五千坪の出願中ださうだから之れが許可を得た曉には約四百萬坪の大鑛區を領有する事になる。

△億萬長者も跣足 此の鑛區內が總て金なら夫れこそ億萬長者も跣足で逃げ出す譯だが、金は鐵や石炭なぞとは違ふから却々左樣は行かぬ、然し相當の品位を持つ鑛脈が相應に賦存してゐることは確かなる事實で產金額の非常な激增は新進時代の通勢だとはいへ一面に於てはいふ迄もなく、當山に有望な鑛脈が續々發見せられて行くことを裏書するものである。

△經營開始の時代 當山の現況を說くには遡つて其の創業時代を略述して置く必要がある。小林氏が此の山を手に入れたのは數年前の事であるけれども兎も角金山としての設備が出來て產金を見るに至つたのは漸く三年前に過ぎぬ。當時鑛主の嘗めた苦心は懦夫をして立たしむるものがあるが之れは問題外だから茲には省くとして扨て鑛主が龍水五里の兩鑛區を並て五里洞の製錬所も出來、愈々精錬に著手して見ると其の成績は却々豫期の如くには參らない夫れでも不撓の勇氣と不屈の努力に依り工夫に工夫を加へ改良に改良を重ね一意產金の增加に盡した結果大正三年に至つて始めて年產額三萬圓を得た

△產金增加の趨勢 然し同年末迄に放資した金額は既に十九萬圓に及び收支の計算からいへば素より比較にならなかつたのであつたがこれに依つて大體の基礎を得ると共に略ぼ將來の見込も付いたので全山に始めて活氣を呈し翌大正四年には更に四萬圓弱の資金を投じて五萬圓の產金を見る事が出來た其の翌大正五年には又復數萬圓を投じたが今度は一躍十三萬圓の產金を得た

菊
(五の日十の日會吟)

○賓生菊の名立ちに名まだき　虎耳
○菊束解く灯の下匿ふ　浮碧樓
○隣ぎもの水底光れり菊に　坡柳
○玉卷き上ぐる菊障子の照り　黃丘
○軒危うく菊支ふる　鳥堂
○菊の砂風の夕かな　日池

日報歌壇

ヴアキオリンうす月させば影にふるひほろろ不覺の涙は落ちぬ　京城　萬里子

エメラルドぼの輝やけば悲しかり秋、大陸の山の夕ぞら　京城　小夜吉

打默しつひに別るゝ運命なりほゝづき赤く熟れてありけり　京城　清水とし子

垣根よりコスモス溢れて咲きにけり我いとし子の宮參る日に　同　平井忠造

大いなる望のあれば讒謗の愚弄の中に默してありぬ　烏致院　J.N.生

泣き死にし我が鈴虫の墓つくる夕日の中に萩ほろゝ散る　黃金町　瀨島たかし

銀行の石階の日向に乞食等が今日も集ひぬ秋の風吹く

師範講義

新設簡易科 今回尋常科准教員及び師範入學受驗者の爲め簡易科を新設して十月一日より開講す卒業期は六ヶ月なれば明年三四月の受驗に間に合ふべし小學校卒業後更に學力を補習せんと欲する男女も此科に入りて勉強すべし無代進呈の見本は他科と共に會則に添ふ

師範本科 簡易科新設と共に從來の講義を改稱して師範本科とし大に改正を加へ講義數名の更迭あり本科正教員受驗者及び師範中學高女程度の普通學を獨修せんとする男女此科を好適とす

英語科 はABCの讀み方より始めて最も平易親切に英語の實力を養はしむ目下入學好機

會長 澤柳文學博士

本會三大講義 師範本科(改正)一年半卒業 簡易科(新設)六ヶ月卒業 英語科(短縮)一ヶ年卒業

改正會則無代進呈 東京牛込津久戸町 日本師範學會

日本師範學會出版書目
小學教員檢定試驗受驗の栞 定價上製八十錢並製五十八錢 税八錢 右各府縣大正五年度檢定問題答案集
東京遊學及苦學 定價金三十錢 郵税金四錢 學校案內學資の說明及苦學者の手引

會員大募集 記念特典提供 目下入會の最好機!!!
漢學講義錄
懸賞詩文募集 (會細則)
講述學科 漢學研究法 論語 外史 政記 文章軌範 十八史略 近世名文 唐宋名文 孟子 作文法 漢文鑑 唐詩選 故事熟語 試驗問題解釋 支那小說譯解 靑年修養談 其他(詩文添削質疑應答無料)
會則 無代進呈 振替一一一二九四番 東京神田小川町一 帝國漢學普及會

新刊 適業發見 選定便覽 三輪對照曆 四六判全一冊 二百五十餘頁 正價五十五錢 送料六錢
淘宮大家竹內師水先生が一歲より四十歲迄四十年間一萬四千六百日間に生れたる人々の三輪を調べ適業素質を判定した稀有の珍書又明運修養書內容見本と發行書目進呈 東京神田錦町三 三永樂堂書店 振替三一六四

全部七卷完成
文學博士 佐々醒雪君 巖谷小波君 校訂
俳諧叢書
東京博文館
大判洋裝上製天金綠 體裁滑稽函入 總紙數五千頁 正價各壹圓卅錢 送料各壹十二錢
第七卷 芭蕉翁全集 製本出來
俳祖俳神としての芭蕉を知らむとするものは、先づ本卷を手にせよ。本卷は最も彼れの面影を知り、其の行狀を窺ふべき繪韻事、さらに歿後五年にして直接門人の手に成れる最初の句集たる、其の感情の歴史を示せる泊船集として、永久に俳諧上に不斷の妙音を放つ七部集と、人生との活歴圖として、一代の見識と力量とを揭げ、さらに人格と、俳て活字に組まれざる猿蓑七部集と其の拾遺とは、苟くも俳諧を談ずるほどのものは、座右を離す可らざるの寶典たるべし。
既刊書目 一卷 俳諧註釋集 上卷 二卷 俳諧註釋集 下卷 三卷 名家俳句集 附合集 四卷 俳論作法集 五卷 名家俳文集 六卷 俳人逸話紀行集

實業之日本
決算報告書の見方(工業會社實質鑑別法) 浦賀船渠會社長 町田豐千代
人間力の正用 法學博士 浮田和民
北海道開發論 增田社長 北海道は幾何の農家を收容するか 衰死の町を振興したる實話
俸給生活者の住宅問題 借家に住むが利益か新築するが利益か各專門家の打算的說明
秋と人生 農學博士 法學博士 新渡戸稻造 清く淋しい秋は人をして人生といふとをしみじみと思はせる
實業家は新內閣を如何に見るか
力行萬里を往く氣槪(苦學立志奇談)
實業界の奇傑 金子直吉氏
商店新繁昌記(益々好評)
農家に此有利な事業あり
二階の白煉瓦 地下噴水を利用して沃田と爲す
神經衰弱諸症療法 醫學博士
秋季增刊 有効生活(再版) 二十六錢 郵税二錢
十月十五日號 一冊三十三錢 郵税一錢五厘 半年一圓九十五錢 東京京橋 實業之日本社 振替三二六番

○副總統選擧期日

二十四日參、衆兩院聯合會議にて副總統選擧期日に就き大激論ありたるが票決の結果一週間内に擧行する事に決定せり而して一週間内の何れの日に擧行するかは兩院議長の定むべき所なるも多分二十七日か三十日なるべしと(北京特電)

○張督軍の親日標榜

張督軍は近來親日を標榜し來春四月頃日本を視察し度しとの意を漏らせり(奉天特電)

○陳外交總長解任

二十四日附命令にて陳錦濤氏の外交總長兼任を解き夏次長をして代理せしむべき旨宣布せり(北京特電)

○黑龍督軍省長希望

黑龍督軍は省長兼任たらんと欲し政府は彭北京公武學堂長を該督軍たらしめんとするも承諾せざる故張作霖氏に命じて勸誘せしめつゝあり(奉天特電)

○三線聯絡問題解決

運賃割合は來月中旬迄に實施

三線聯絡運賃會議は二十六日午前十一時より鐵道院に於て開會引續き除外例の品種選定に關し協議を爲したるに何等の議論も無く互讓の結果左の如く決定せり(東京特電)

一、十月末日を以て期限とせる現行三線聯絡綿布外十品種の割引賃金は安奉線連奉線共に當分現行の儘之を繼續する事

二、左に列記の物品に對し新たに安奉線經由の三線聯絡割引運賃を設定する事とし其の割引運賃に對する滿鐵の收得額は現行の約三割引に相當する額(卽ち綿布以下十一品と略同樣の運賃となる譯なり)朝鮮及び内地鐵道の收得額は略ぼ現行の割引賃銀に相當する額を標準と爲し發著驛其他細目は相互研究の上決定する事

(イ)滿洲よりの輸出品(豚毛、獸骨、馬尾、皮、雜穀)に限り著驛を九州線及び山陽線下關、廣島間に止む

(ロ)滿洲よりの輸入品(金物類(材料製品共)食糧品、罐詰(瓶詰共)、和洋酒、味噌、醤油、砂糖、紙(古新聞共)野菜、染料及び塗料、瓶、清飲料水、蠟燭、藥品及び藥材、硝子及び其製品、油類、皮及び其製品、化粧品、綿布、煙草、文具、茶、家具類)

三、第二項運賃割合は成るべく本月中に其細目を協定し來月中旬迄に實施する事

○英陸相と羅國保護

羅國公報はツエルナウオダの陷落を容認せり又英國陸相ロイドジョージ氏は下院に於て聯合國が羅馬尼を保護せざるべからざる事を聲明せり(桑港電報)

○佛軍敵戰線大攻擊

佛軍はヴェルダンに於て五百哩に亘る獨軍戰線に對し大攻擊を行ひて全然之を擊破し將校百名以下三千四百の捕虜を獲たり(倫敦電報)

○伊軍マセドニア聯絡

佛國陸軍省の發表する所に依れば伊軍騎兵及び砲兵隊はマセドニア戰線に於ける聯合軍側と聯絡を執れりと(紐育電報)

○維塞獨軍逆襲大敗

[illegible]獨軍の[illegible]

[illegible]諾威の報道に依れば五隻の獨逸潜航艇はルウエカ南岸に[illegible]を行ひ居れり([illegible]電報)

○車[illegible]

[illegible]二十七日砲兵隊李關長以下士官八名[illegible]常に怪しき男の群れ入し居れる[illegible]二十日夜福岡縣久留米市片原町生れ[illegible]む原因は温突焚口の火が[illegible]に燃移りたるものなりと

○賀表捧呈告示

波多野宮相は十一月三日立太子式當日文武官並に同資格者判任官並に同待遇者の賀表捧呈に關する告示を廿三日官報を以て發表せり(東京特電)

◎銀行預金と貸出

貸出しは六十萬圓減

朝鮮内各銀行の九月末に於ける公金定期當座小額諸預金の現計は十萬零二千八十八口四千二百五十八萬八千四百三十圓にして之れを前月末に比すれば口數に於て五百七十一口を增加し居れど金額は反つて十三萬七千七百圓の減少を示し居れり而して之れを各銀行別に示せば左の如し

銀行名	口數	金額
鮮銀	一五、七六七	一七、〇〇〇、四一六
農銀	四三、三七四	七、九九四、九六一
普通銀行	四二、九四七	一七、五九三、〇五三
合計	一〇二、〇八八	四二、五八八、四三〇

而して貸出は合計一萬三千九百九十二口五千零十一萬二千二百八十一圓にして前月に比すれば金額六十一萬九千二百六十圓の減少を示せり貸出種別を擧ぐれば左の如し

貸出種別	口數	金額
年賦貸附	三、一二七	八、一〇〇、七一四
普通貸附	五、八二一	一六、四六九、三九二
當座貸越	八七四	五、三〇一、三五八
割引手形	一六、九六〇	二〇、二四〇、八一七
合計	一三、九九二	五〇、一一二、二八一

尚ほ右兩表共朝鮮銀行の鮮外支店出張所分は含み居らず又東洋拓殖會社金融部及び地方金融組合の貸出しを總計せる總額は五千九百三十二萬七千百九十七圓なりと

◎内鮮農產品及其加工品の出入狀況(二)

朝鮮農業開發の根本研究

朝鮮の輸移出品

▲米 は朝鮮農產品の大宗にして輸移出貿易品中最も主要なるものに屬し常に其の主位を占む、殊に近年其の輸移出額を增加し大正四年には二百五十六萬石、二千四百五十一萬圓に達し實に輸移出總額の半に及ぶ其の仕向先は内地八割を有ち南北滿洲及び露領亞細亞各一割を占む、而して輸移出する米の種類は内地に對しては玄米を主とし精米之れに次ぎ支那に對しては精米露西亞に對しては籾を以てすること年來の慣例たり朝鮮に於ける米の增殖、改良の計畫は著々其の實效を奏し生產額年々增加するのみならず米穀檢査の實施と共に乾燥調製著しく改良せられつゝあるを以て販路益々擴張せらる可きは言を俟たず

▲小麥 は年產額百二十萬石内外にして其の大部分は朝鮮内に於て麥粉及び麴として消費せられ、外に販賣せらるゝものは年額三萬石、二十萬圓内外に過ぎず。然れども小麥は朝鮮に於ける製粉原料として又内地移出向として販路頗る廣汎なるに鑑み既に品種改良の成績見る可きものあり又作付反別も漸次增加す可き趨勢にあるを以て前途囑目するに足る

▲大豆 は米に亞ぐ貿易品にして輸移出先は九割九步は内地にて味噌、醤油、豆腐の原料其の他食用材料として滿洲大豆に比し遙に優等の品質を備へ需要極めて廣汎なり、向後生產の增加と品質の改良に伴ひ益々其の輸移出增加す可し

▲果實 大正三、四年に於ける輸移出額は四萬五千圓内外にして未だ微々たりと雖も數年來其の生產增加に伴ひ蘋果、梨の如き輸移入額累減し近く之を驅逐するの勢あり、販路を朝鮮外に求むるの必要あるを以て目下内地、露領亞細亞、滿洲、香港方面に對し試賣せられつゝあるに依り漸次輸移出額の增加を見るに至る可く殊に内地に對しては本年四月より移入稅低減せられ移出上の利便を加へたるを以て移出必ず增大す可し

▲人蔘 輸移出する人蔘は紅蔘、白蔘、蔘鬚の三種あり、白蔘及び蔘鬚は其の額少きも獨り紅蔘は支那人の最も愛用する所にして產額の全部を支那に輸出す、開城地方に於ける蔘圃の復興以來輸移出額年々累加し其の數量は四十四年の千斤より大正四年の一萬九千斤に、價額は六萬七千圓より百二十三萬圓に增進せり

▲棉花 の仕向先は全部内地にして數年前までは實棉の儘大阪に搬出せられたるもの多かりしも近年朝鮮に於ける繰棉事業の發達と共に實棉を以て移出することは全く其の跡を絕つに至れり、而して其の移出額は明治四十四年の百二十一萬斤、二十五萬圓より大正四年の四百十萬斤、百十五萬圓に達し更に大正五年に於ては四箇月間の移出額百四萬圓に及び增進の勢凄まじきを見る、向後棉作の擴張と共に移出は益々增大す可し

◎東拓苹果輸出

消毒簡單に濟む

東洋拓殖會社にては德島果樹園に產せる林檎約五百個を最近哈爾賓市場に發送委託販賣に附せしが安東縣に於ける關東都督府の生果禁輸取締並に長春の露國官憲警戒は德島縣務官憲より傳染病流行地產にあらざる旨の證明を附したる爲め包裝外部の簡單なる消毒を受けしに過ぎず何等果物には損害を受けざる由

□立太子禮要旨

立太子禮當日學校生徒の訓話資料たる可き立太子禮の要旨は二十六日文部省より總督府に送達せるより學務局にては之れを各地の學校に配付す可く同日各道廳に宛て發送したり其の全文左の如し

本年十一月三日、立儲令の定むる所に依りて立太子の禮を行はせらる。立太子の禮は皇室の嘉禮にして國家の慶事なり。されば國民たるものはよく其の意義を了解し、赤誠を致して之を奉祝すべきなり。

▼皇太子殿下 皇太子殿下御名は裕仁と申し、今上天皇陛下の第一皇子にてまします。明治三十四年四月二十九日御誕生あらせられ、今年御年十六歲にましまし、御資性聰明御身體壯健に渡らせらる。大正元年九月九日、大勳位に敍し菊花大綬章を授けられ、陸軍步兵少尉、海軍少尉に任ぜられたまひ。大正三年十月三十一日には、陸軍步兵中尉、海軍中尉に御昇任あらせたまへり。陸軍にては近衞步兵第一聯隊附、海軍にては第一艦隊附にてあらせらる。御學事は、大正三年三月學習院にて初等學科を卒へさせられ、爾來東宮御學問所に於て修學せさせたまふ。東宮御學問所は專ら皇太子殿下の御教育の事を掌る所なり。謹みて按ずるに、皇太子は將來皇位に登らせられ大日本帝國を統治したまふべき御方なり、抑々皇位は天照大神が天孫瓊瓊杵尊に寶祚無窮の神勅を下したまひし以來連綿として變ることなき皇祖皇宗の御位なり。而して皇長子にておはす殿下が皇太子にましますす御事は帝國憲法及び皇室典範の條章にて明かなり。帝國憲法には『皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス』と規定せられ、皇室典範には『大日本國皇位ハ祖宗ノ皇統ニシテ男系ノ男子之ヲ繼承ス』『皇位ハ皇長子ニ傳フ』『儲嗣タル皇子ヲ皇太子トス』と規定せられたり故に皇太子殿下は大正元年七月三十日天皇陛下御踐祚の時より皇太子にましまし、今回行はせらるゝ立太子の禮によりて始めて皇太子とならせらるゝにあらず。立太子の禮は莊嚴なる儀禮によりて既定の事實を天下に宣示せらるゝ所以なり。

▼立太子禮 立太子の禮は賢所の大前に於て行はせられ、當日立太子の詔書を公布せらる。立儲令に立太子の禮を賢所の大前に於て行はせらるゝこと定められたるは、明治天皇が祖先尊崇の大義に依り國體の本義に基づきて、特に創定せさせたまひし御事と拜察す

▼賢所大前の儀 當日畏くも文武高官、有爵者等を賢所の大前に參列せしめ天皇陛下には御束帶(黃櫨染御袍)皇后陛下には御五衣、御唐衣、御裳にて出御、天皇陛下親しく皇祖の大前に御拜禮ありて、御告文を奏せられ、次に皇后陛下御拜禮あり、次に皇太子殿下御儀服(御冠は黃丹色闕腋袍)にて御參入、御拜禮ありて御前に參進あらせらるゝや、勅語ありて、御手づから壺切御劍を殿下に授けたまふ此の御劍は、醍醐天皇が皇太子にてましませし時、御父宇多天皇の授けたまひし以來、累世皇太子に傳へたまへる寶劍なり。

▼其の他の諸儀 賢所大前の儀に先だち賢所、皇靈殿、神殿に御奉告の儀あり。尙神宮、神武天皇山陵、並びに明治天皇山陵に奉幣せしむる爲め、豫め勅使を發遣せられ、當日神宮並びに山陵に於て奉幣の儀を行はしめたまふ 賢所大前の儀に次て、皇太子殿下賢所、皇靈殿、神殿に謁せらるゝの儀あり。次に皇太子殿下(御束帶)御參內、正殿に於て天皇(御束帶)皇后(御大禮服)兩陛下の御前に御參進、御謝恩の御詞あり、御盃を賜はりて退下あらせらる最後に宮中饗宴の儀あり。これ嘉禮の成るを慶し皇家の景福を頒ち賜ふの意なるべし。以上の各儀順次執行せられ、茲に立太子の禮に關する儀禮全く終了するものとす。

▼奉祝の心得 立太子の禮は皇運隆昌の表現なり。七千萬の國民滿腔の赤誠を披瀝して之を祝し奉るべきは固より言を俟たざる所なり。然れども表面形式の事にのみ心を勞するは、眞に奉祝の誠意を貫徹する所以にあらず。宜しく此の盛儀に際して皇祖の神勅を畏み、立國の大本を明かにし、我が國體の世界無比なる所以の自覺を深くし、益々勵みて各其の業とする所に力め、其の本分を盡し、以て天壤無窮の皇運を扶翼し奉らんことを期すべき也

日露親善 (第十一信)

翠花

○將軍クロパトキン氏嘗て曰く、一朝事あらばハバロフスクを始め黑龍江全線は敵の攻擊に暴露せられ、且つ烏蘇里地方は彼等のため全く切斷せらるゝに至るや必せりと、然るに我等は今東清線を西に向て旅行するに方り、斯る氣分の名殘なく消ねて日露親善の能く味はるゝを快とす。

○縉紳の旅行は知らず、平民氏が南滿列車にて支那苦力と雜寓し、痛烈なる勞働情味に打たるゝに反し、東清線に轉乘すれば日本人と支那人は別室に分たれ、支那人を滿載せる車には露兵士間斷なく警戒巡邏し停車毎に其威嚴を示すに引き代へ日本人の待遇ゆたかにて折々車掌が奇なるアクセントしてあなた切符々々と點呼し來るあるのみ、驛室の衞士に問へば月に一兩回は馬賊を捉ふと云ふ。

○親善の發露は單に汽車のみならず我が居留民が普通郵便は兎も角、小包郵便を我が領事館取扱のものに附するを默諾せらるゝ如き兩國の深厚なる諒解と交歡を語る左券とすべし輸送力の難澁なる折柄に在りて母國よりの物資が領事館扱小包郵便にて我が居留民に速達せられ得る便益は蓋し莫大にして露商も亦其居員たる日本人の名に於て其商品を我が國より取寄せつゝあるもあるべし。(二十一日)

人事消息

▲勝榮三郎氏(三國商會主) 二十五日夜入京天眞樓へ ▲ブラウン夫人(米人) ▲ツルビー氏(米人鑛山業)同上

■南言北語■ (コロコロ)

孫總長の頸が切れねば先づ拙者の頸からお切りなさいと段祺瑞がウンと拗た處は豫定の計畫らしいから喫驚とも何ともせぬ ▲要するに之れは次第々々に黎總統を壓迫せんとする北方派の手段に過ぎない▲其處へ持つて行つて張勳查辨案が議會へ出たと云ふ事を聞いた張勳老持ち前の肝癪玉を忽ち爆烈させて見よ若し議員等が云ふ通りでなかつたら查辨案提出の議員二十人は何うして呉れる▲事宜に因つたら愈々兵力で干涉をおつ始めるぞと北京へ打電したと云ふ之れも南方壓迫だ▲ゴム風船玉でも壓迫の内は好いが其れが過ぎて破裂する時には大きな音がする南方派だつて對抗する丈けの勢力はあるから壓迫が過ぎると飛でもない爆裂を見るかも知れぬと云つて南方派は可愛相に大立役者の蔡鍔は未だ福岡病院に來て病を養つて居る▲黃興は胃潰瘍で二度も咯血し身體を動かす事も出來ぬ重症▲唯一人孫文が元氣で黎總統の顧問になつて居るが折柄の秋風落寞英雄の心事も偲ばれる▲戰後に於ける土耳其の處分に就て英佛邊ではボツ〳〵議論が始まつて居る▲其の處分案と云ふのを綜合すると先づ今日の歐洲土耳其を分割して之を露西亞の領有並に處分に委し從來の土耳其は今日の亞細亞土耳其の領域にのみ存在を許すと云ふ意見が一致して居るらしい▲而して處分後には瑞西などの例により永世中立の國家とし獨立自治を許すと云ふ者と▲獨立自治の國家として眞價が無い故暫らく英國の保護の下に中立國となすが可いと云ふのもある▲取られぬ狸の皮算用好く行けば好いがナア

宮所工學士主幹
建築之日本
愈大發展 三色版 ... 十一月號
芝虎之門 建築之日本社

女學世界 十一月號
本誌獨得の大文學 砂の塔……與謝野晶子
△紐かがみ(修養日誌)……
△時雨草紙(隨筆)……瀬むらさき
△飛彈の紅女(諸國風俗)……雪村未覺
醜のくり言……磯千鳥
結婚と生理的相性の研究……井上豊太郎
事實奇譚 夫婦共稼ぎの屈辱……紫陽花
連載二大長編小說 南國の女……上司小劍
女優……田村俊子
夫の實家と絕緣して志を成した女……神戶大村嘉代子
名流婦人の幼なしらべ
行儀見習の記……草分衣
△淘宮術研究(氣質改造)……微塵藏
△田舍娘の日記……千代子
△日鮮内緣記(京城土產)……初砂吹く風
傳說 講書 狂女傳……橘朝夢
定價二十三錢(郵稅二錢)
東京本町 博文館

英語の日本 十月十五日號
六大讀物
□SeG 語義研究(連載) 正則英語學校々長 齋藤秀三郎
□ヂミと下宿の主婦(英文) 東京高商學校教授 舟橋雄
□クリスマスカロル講義(第一回) 正則英語學校講師 佐川春水
□教員豫備檢定試驗英語科成績觀 附同試驗英文和譯和文英譯答解 文部省督學官 茨木清次郎
□ルベエアット評釋(第一回) 神戶高等商業教授 小川忠藏
□英文法新講話(第一回) 明治大學講師 佐川春水
一册十二錢 郵稅五厘 十二册一圓四十錢
東京神田表神保町 株式會社 建文館 (振替東京八五七〇)

中編 英語正解法
正則英語學校講師 佐川春水先生 山田巖先生 共著 前編金九十錢 中編金一圓 (郵稅各八錢)
今や英語の需要は益多く入學試驗の通過は愈難きを加ふ此時に方りて「如何にせば英文を正確に解釋し得べきか」「如何にせば十分なる自信を以て試驗場に臨むを得べきか」の問題は本書を俟つて始めて解決せらるべく學殖深く經驗豐かなる兩著者が一字一句の研究に數回の會見、文通を厭はざりしに見ても本書が如何に用意の周到、說明の懇切を極めたるかを知るに足るべきなり。

下巻 ユニオン第四讀本講義
正則英語學校 法政大學講師 山田巖先生著 全二册 上卷八十五錢 下卷九十錢 (郵稅各八錢)
この書は讀本中の名讀本であらゆる英語の模範的文體、語句慣用法等を網羅し殆んど完璧な難句集の觀があると同時に一面宗教的敬虔な色彩を帶びて讀過の際知らず知らず學生の人格を高潔になさしむ修養書である
最近二十年間の諸學校入學試驗英語問題の大半は明かに本書から出題せられてある故に英學生殊に受驗志望の人々など徒らに數百の所謂受驗秘訣書類を亂讀するよりも眞に讀本中のオーソリチーたる本書に據り本書を中心として一字一句漏らさぬ研究と解剖が肝要である上卷十六版下卷三版發賣
◎發兌 東京神田表神保町 株式會社 建文館 振替東京八五七〇番 大阪東區北久寶寺町四丁目 盛文館 振替大阪二五七八六

●獨潛艇ルヴエ英軍…
…巴布札(三名)生死に就ては報…の報告に…と共の生存說を全く否認し居れり(奉天特電)
…八木儀之助(三)の三名にて車座になり花札を弄し現金賭けの博奕を開帳…
…防及び常備消防隊出動…燒失したるのみにて即時消止

あはれ芳ばしく、輝やかしく(一)

御德磨かせ給ふ日嗣の皇子の事ども

明治三十四年四月二十九日御降誕遊ばされ今は陸海軍中尉の軍職に在せらるゝ皇太子殿下の御幼時は御弟宮淳宮、高松宮兩殿下と共に

□青山の假御殿

にお住ひ遊ばされたのでした、抑も此の假御殿は御産所御殿を入り突き當る所にありまして二十疊敷の御室が三室より成り御常御殿と申します、さうして一室は御遊戯御殿、一室は御食事部屋、一室は御寢殿で御座います、皇太子殿下を始め奉り弟宮

□二皇子殿下も

だん〳〵御成長遊ばされまして御殿も御手狹となり、明治四十一年以來新に御造築になりました、この御殿の御材木はすべて木曾の御料林から伐り出した一本選りのものださうでございます、又御殿の周圍には大きな樫や竹の林があります、皇太子殿下は御勉學あらせられる

□御學科中算術

は殊に優れさせられ、御腦力明晰に在らせらるとは常に受持教師の感激し奉つて居る所であります、修身訓話の如きも能くその要所を御了解遊ばされ、おり〳〵には和氣淸麿、楠正成などの誠忠なる事跡を語り出でさせ給ふとのことでございます、御修學の暇には

□御庭の芝生に

降り立たせ給ひ御學友を相手に御相撲などの御遊びにも打興せたまふ程で御幼少の時から日の丸の旗喇叭、村田銃、洋刀、馬などの玩具を喜ばせられました、時折には村田銃を持つて兵隊ゴッコをなされました、また侍臣の人々より色々のお話しを申上げる内、一番おすきでありましたのは義經

□義家賴朝秀吉

などの戰ばなしや偉人大將の物語りであつたと洩れ承つて居ります一日鍋島侯夫人が御殿に伺候いたしました時皇太子殿下には御弟宮雍仁親王殿下に向はせられて『戰爭しやう戰さゴッコしやう』と仰せられつゝ夫人に向ひいといたいけなる御言葉にて『鍋島捕虜になれ』と勢ひ鋭どく仰ありました

□そこで夫人は

『戰をいたしますれば容易に捕虜にはなりませぬ』とお答へ申し先づ『殿下には大將におなり遊ばせ』と申し上げたるに殿下には『大將も面白いが兵隊の方がもつと宜い』と仰せになりました、夫人は怪しんで『何故でござります』とお問申し上げしに殿下は『兵隊でなければ働けぬ』と勇ましく

□御答へあらせ

られたといふ事でございます、この一事を伺ひましても殿下には御幼時より誠にお偉い御方であらせられた事が拜察せられます

操縱將校 部署に就く

大演習參加飛行隊の出發

所澤、九州大演習地間の野外飛行は數日の後に迫れるより所澤豐橋間(第一區)を飛行すべき齋藤、武宮、新山、瀧川の四中尉以下十六名の將校は日々飛行を練習し居れるが第二區以西の各操縱將校は二十八日所澤出發豫定の位置に就くべく機及び機材輸送指揮官伊藤大尉は部下を率ゐて二十六日先發せり尚飛行隊に屬する幹部及び飛行將校並に飛行區域左の如し(東京特電)

▲南軍 隊長 鳴瀧大佐、副官 新井中尉 材料係 坂元中尉、寺島一等軍醫

第一中隊 原田大尉、中田、中村、內藤、齋藤、武宮、木下各中尉 第二中隊 岡大尉、岩宮、西村、安部、曾根、小澤各中尉 配屬 菅田、松岡兩中尉、中島少尉

▲北軍 隊長 益田少佐、副官 杉野中尉 材料係 眞壁中尉、楠森二等軍醫 第一中隊 德川大尉、伊藤、坂口、加藤、足立、兒島五中尉、益滿少尉 第二中隊 伊藤大尉、坂本、加藤、伊庭、新山、荒瀨、瀧川六中尉 配屬 日比沼、服部兩中尉、神谷、野田兩少尉

▲飛行區域 第一區 所澤、豐橋間六十四里 第二區 豐橋、姬路間六十九里 第三區 姬路、廣島間五十五里 第四區 廣島、大演習地間六十五

賭場管理人 拘引さる

收賄事件か=安東憲兵隊の大活動

安東憲兵分隊に於ては去る二十一日午後七時頃突如安東縣二番通七丁目なる泰昌公司に至り同公司管理人支那人林銘綬を引致し取調べの結果更に翌二十二日未明に至り同公司書記支那人王金丁(三)をも引致し小林分隊長係りの下に嚴重取調べを爲しつゝあり

▲事件の內容は 秘密に屬するを以て詳細記述する能はざるも仄かに聞く所に依れば安東紳士の殆んど全部を網羅せる該公司より贈りたる金錢物品等の收賄にして大疑獄事件なり憲兵隊にては秘密を守り堅く口を緘して語らざるも既に收賄の事實は續々として現れるものゝ如く隊員は二十四日夜來の降雨にも不拘大活動を開始し居れり或は近く旅順より判檢事出張の模樣なり泰昌公司は去る明治三十九年の創設に係る支那人經營の

▲賭博公開場 にして安東縣附屬地內二番通八丁目に宏大なる家屋を建築し幾多の無賴漢を糾合して一日數萬圓の勝敗を爭へる大賭博場なるが公司の收入は一日數百圓多き時は一千圓以上に達する純利益ありと言ふ然るに突如本年四月下旬に至り其筋より禁止の命に接し止むなく停止したるが安東には尚ほ他に堀割通九丁目に同昌會と稱する賭博場ありて依然經營しつゝあり一方を禁止して一方は依然許可する而も日支兩國共に法律を以つて嚴禁せられたる金錢の輸贏を許可したる裏面種々想像を逞うせしめしが遂に憲兵隊の活動を見るに至れり

京城荒しの賊

龍山元町二丁目飲食店玉屋方滯在下關市觀音寺町生れの酒井貫一(三)は竊盜罪に依り臺灣にて處分を受けたる前科者なるが九月二十八日午後九時頃京城本町四丁目吉本某方に忍び入り衣類雜品在中の柳行李一個(百二十七圓餘)入りを竊取したるを手初めに外三箇所の內地人宅より衣類雜品數十點價格三百圓以上を竊取し僞名して入質し酒色に消費しゐたる所を本町警察署に檢擧さる

談合事件

聽衆犇々と詰掛く=稻垣工務課長喚問 控訴公判第一日

世人が刮目してその公判開廷を待てる京釜線工事請負談合事件控訴公判は既報の如く二十六日午前九時より大邱覆審法院に開廷せられたり、定刻となるや小林長兵衛以下

▼被告十八名 打揃うて出廷し續いて花井、鵜澤、勝本、小川、大井、岡田、木尾、安住、朝倉、加藤、赤尾、堀池の各辯護人入廷するや齋藤裁判長は陪席の森田、丸山の兩判事と共に書記を隨へて著席と同時に係檢事杉村逸樓氏著席之より先

▼開廷前より 續々詰め掛けたる被告の關係者その他の傍聽人は廷外に溢れ息を殺して開廷を待つ光景物々しく見ゑたり、軈て定刻裁判長は嚴かに開廷を宣し第一、第二談合事件各被告に對して型の如く原籍住所、職業氏名年齡等の審問あり、右終るや杉村檢事は起ちて第一審に於いて無罪となれる岡田金之祐に對する

▼檢事控訴の 理由を述べ終るや愈々事實の審問に入り此の一通り終るを待つて辯護人一同より加藤の申請あり別室に於いて四十分に亙る合議の結果加藤課長外三名の證人喚問を却下し稻垣工務課長外二名は之れを職權により電話を以て

▼喚問の命令 を發し二十七日午前著邱同日證人として出廷する事となり正午一先づ休憩、午後一時より引續き開廷第二事件被告に對する犯罪事實の審問あり午後二時三十分を以て終り控訴公判の第一日はこれにて閉廷したるが

▼特別傍聽席 には中山覆審法院長、黑川檢事長、柳澤地方法院長、大村同檢事正、服部警務部長その他關係官廳員三四名の傍聽せるを見たり(大邱電話)

四名慘死を遂ぐ

黃海道長淵郡侯南面城底里匝洞三統一戶農李光表方より十六日午前二時出火同三十分鎭火したるが重火傷の爲め即日死亡者四名を出せり原因は温突の破目より失火したるものにして損害約四圓なりと

圖太い雇女

京城黃金町二丁目居住島根縣安濃郡富山村生れの島林てる(三)は五月二十五日より南大門通五丁目武藏屋旅館に雇はれ中女將の金指環二個(四十九圓)を竊取し之を打直して自分に使用しゐたること發覺し本町警察署に引致さる

菊の香草紙

大培から一輪挿

◇京城ホテルの菊は主婦の中原夫人が精出して培る◇花は大培りから一輪挿から畑のものまで何も倭城臺の秋を誇つて咲き誇つて居る◇『とても〳〵妾などが……』と案內されるまゝに離れの朝鮮家屋の縁先を見れば大小百に餘る一輪挿の花盛り◇『妾のはお師匠樣もなく種も撰ばず唯だ花の匂ひを貴でまするだけで……』との御謙遜に違はずなる程葉の落ちたものやヒヨロ長い鉢も混つて居る◇更に風流な朝鮮式の門から菊畑に出ると其所には切り花用の紅いのや白いのが二列橫隊にずつと咲き亂れて居る◇『妾は毎日暇さへあれば畑に出ますので顏も手足も此の通り眞つ黑になりました◇花は自然のまゝの野趣多きを好みますがまた温室には室咲きの花もございます……』と◇聞けば庭前の築山も主婦の指圖に出來上つたものだ相な

消防演習延期

京畿道警務部にては二十九日龍山練兵場にて消防夫大演習開催の旨報道せしも其の日取に就ては多少の遲延あるべく多分十一月初旬頃擧行の運びに至らん

實業對庭球野球戰

京城實業倶樂部對京城庭球倶樂部の野球戰は來る二十九日の日曜日を期し馴練院に於て開催の筈

簡易商業卒業式

京城公立簡易商業專修學校に於ては來る二十八日午後七時半より第一回修了證書授與式を擧行す可しと

京城柔道大會

京城柔道研究會にては來る十一月十一日本町署に於いて秋季柔道大會を開く筈なるが同會の田中陳介氏は三段に中村四郎氏は二段に孰れも昇進せり

專修校修學旅行

京城專修學校職員生徒九十四名は二十六日朝九時十分南大門發列車にて開城へ向ひ同地專賣課出張所に於ける人蔘製造狀況を參觀すべしと

京中修學旅行

京城中學校四年生九十九名は廿六日朝九時半西服教諭他五名引率の下に釋王寺に向け出發夫れより元山に出で二十七日午後歸校の筈

コレラ彙報

▲大邱に十三名

一時終熄に近づきし大邱の虎疫も二十五日に至り俄然府內西門市場町に眞正六名保菌者七名合計十三名の新患者を出だし今更の如く市民を驚愕せしめたるが內地人居住密集せる西門市場なれど發生者は悉く鮮人にて當局は全力を注ぎて是が撲滅に努めつゝあり又已に冷氣加はりつゝある事なれば一時再燃せしも大事に至らざる可しと(大邱)

▲興業物開始認可 大邱府に於ける惡疫流行の爲め興業禁止中なりしも二十五日警務部にて防疫會議の結果相當の設備を條件として興業物開始を認可する事に決せり(大邱)

▲釜山は下火 釜山に於ける虎疫は廿四日より二十五日の間に六名の新患者發生し累計九十八名となれるが發生後七八時間を經過せしものは一命を取止め得べき狀態なり而して二十五日全治退院せるもの其春範、中島幸三、同妻ヒサ、吉森百松、淸木六郎の五名保有者の退院は金順保、金仁玉の二名なり中にも其春範の如きは去る十日防疫官に抵抗して入院を拒みたる患者なるが入院後懇切丁寧なる取扱と看護に感泣し報恩のため檢疫を厭ひ居る鮮人に對し自分の發病以來退院迄の實況を物語りつゝあり(釜山)

▲金浦に疑似發生 金浦郡串面歸金里權重喜(五)は二十二日午前十時より吐瀉し廿四日午後一時疑似と決定せり

▲看護婦の感染 京城府南米倉町二七七看護婦森下うた(三五)は順化院に於てコレラ患者看護に從事せるものなるが廿五日午前十時檢便の結果菌保有者と決定せり

▲長唄二葉會演奏會 杵屋六武の長唄二葉會にては二十七日午後六時より浪花館に演奏會を催すべく當日は新券、京城券、中券藝妓の出演ある筈にて當夜の重なる番組は如左 △鶴龜(三番叟)(唄みちり、ふみ子、三絃操子、春子、花子、杵屋六武)△松の綠(唄照子、小金、三絃辰龍、杵屋六武)△小鍛冶(唄若、三絃若吉、杵屋六武、鼓つぼみ、太鼓よしの)△吾妻八景(唄てる子、金彌、三絃ひな子、吉勇)△連獅子(唄三すじ、三絃梅香)△勢獅子(唄若吉、榮太郎、三絃吉勇、杵屋六武)△吉原雀(唄芳村榮十郎)△老松(唄金彌、辰龍、三絃榮太郎、杵屋六武、鼓つぼみ、太鼓小金)△元祿花見踊(唄小金、三絃若吉)△供奴(唄みさほ、花子、三絃つぼみ、杵屋六武)△朝妻(唄つぼみ、よしの、三絃よま子、杵屋六武)

新小說豫告

怒濤の月

小林蹴月作 武內桂舟畫

同情すべき處女の貞操、憫むべき靑年藝術家の意氣、放縱なる貴族の歡樂、我慾一點張の事業家の魂膽、以上は即ち此の『怒濤の月』の主材となつて居るのです。重疊の波瀾、天來の奇筆、恐らくは我が讀者をして、痛快を叫び、手に汗を握らしめずには置かれぬだらうと思ひます加ふるに、插畫は現代風俗畫家の第一流武內桂舟畫伯が高邁颯爽の筆に成るもので、是亦錦上花を添ゆるの感あるは、疑ひなき所。敢へて愛讀を賜へ。

一石炭七拾貳萬斤
右購買ス詳細ハ十月十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一槍材武貼
右購買ス詳細ハ十月十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一普折釘
右購買ス詳細ハ十月十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

購買廣告
一、木舟貳拾壹艘
右購買ス詳細ハ十月二十日朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
第十九師團經理部

株式朝鮮郵船會社
第九回決算報告
自大正五年四月一日至大正五年九月卅日

借方之部

科目	金額
拂込未濟株金	壹、五〇〇、〇〇〇 〇〇
船舶代價	壹、壹壹八、參壹八 貳七
新船構造代價假拂	參七、九貳〇 六貳
小蒸汽船及解船代價	參、八七六 五六
地所建物代價	八四、九六八 八八
貯藏品	參六、八七參 壹貳
什器	六五七 六五
保證金代用有價證券	壹〇、〇五〇 〇〇
未經過保險料	壹貳、壹九八 八〇
貸金勘定	貳壹、壹〇〇 〇〇
銀行勘定	參〇九、六七〇 五四
金銀勘定	壹壹〇 壹九
各支店勘定	四壹、壹貳壹 七八
政府勘定	壹參四、壹九四 六〇
決算未濟勘定	壹貳、壹壹四 二四
合計	參、參貳參、壹七五 貳五

貸方之部

科目	金額
株金	參、〇〇〇、〇〇〇 〇〇
準備積立金	壹五、八貳〇 〇〇
船舶大修繕積立金	七七、五〇五 壹壹
別途積立金	貳〇、〇〇〇 〇〇
預リ金勘定	壹九、〇八五 九七
貯蓄石炭代未拂勘定	四、四八〇 四六
仕拂未濟配當金	貳壹壹 貳〇
前期繰越金	參〇、〇壹八 五八
當期利益金	壹五六、〇五參 九參
合計	參、參貳參、壹七五 貳五

利益金處分

科目	金額
前期繰越金	參〇、〇壹八 五八
當期利益金	壹五六、〇五參 九參
合計	壹八六、〇七貳 五壹
內	
準備積立金	壹〇、〇〇〇 〇〇
別途積立金	五〇、〇〇〇 〇〇
役員賞與金	八、〇〇〇 〇〇
海陸員臨時特別手當金	八、九九壹 七五
配當金(年七朱)	五貳、五〇〇 〇〇
臨時特別配當金(年二朱)	壹五、〇〇〇 〇〇
次期へ繰越高	四壹、五八〇 七六

右之通ニ候也
大正五年十月廿六日
取締役社長 原田金之祐
專務取締役 吉田秀次郎
取締役 大池忠助
取締役 堀力太郎
取締役 深尾隆太郎
右調査候處相違無之候也
監査役 松崎文六
監査役 山口太兵衛
相談役男爵 近藤廉平

正氣堂名刺舖
期日正確送料無料 京城本町二
電話二一九五番振替京城一二八三番

良職業あり
高尚有利の事業なり今回各地方支部長を募集す返信料三錢相添へ至急申込むべし直に採用し規定書を送る
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地
帝國法律普及會

運の好くなる話
□一錢五厘が運の向き初め□
人は如何程智惠が有ても運が惡ければ終生心配苦勞の月日を送らねばならぬ實に欲しいものは運である、然るに多くの人は運の惡いは生れ付きと餘所事のやうに諦めて居るか又はおみくじや占ひに迷うて金錢を浪費して居る等甚だ考へ違ひの次第である、元來運命なるものは天から降て來るものではない、自ら造り出さぬ限りは持て生れた不運は不運の儘で終らねばならぬのである
■如何に不運不幸の人でも 其人々に由つて必ず一道の光明が備はつて居る、速に本會の講義錄を讀みさへすれば萬人が萬人生れ付で女子供でも一讀直に過古未來の因緣因果が判然と分り其日からヅン〳〵と實行して行かれる實に得難い貴重の傳書である
東京芝區宇田川町十 日本天眞學會(電話芝五六五四 振東二八七四六)
會費一箇月廿五錢 六箇月終了
此新聞名を書てハガキで申込めば無代で見本送る見本丈見ても大略分る

日韓書房
新版報告
岡本米藏著 牛 第四十二版 定價一圓 送料十二錢
福澤桃介著 予の致富術 定價九十錢 送料十錢
中原南天棒著 機略縱橫 定價九十錢 送料八錢
矢野恒太著 訓話ポケット論語 定價五十錢 送料六錢
泉鏡花著 愛染集 定價一圓 送料十錢
京城本町二丁目 朝鮮 電話一四五 振替口座一一五

朝鮮特產
最も 伏見親王の御宮家の御用命を拜したる人蔘界の大王
純人蔘精腦を必要とす
定價 十日分七十錢 三十日分一圓八十錢 六十日分三圓二十錢 九十日分四圓五十錢
本劑の奏効絕對に確實なるを普及する爲め 當分定價の二割引を以て提供す
京城府長谷川町五八番地 朝鮮製藥專賣所
電話一三〇九 振替口座京城三八一〇番
葉書の申込に應ず

ヒコーキ印粉末消火器
京城本町 熊平支店 電話六〇四番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 [illegible] 振替貯金口座 京城 [illegible]
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山
出張所 鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱、營口
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店
電話一〇九番 振替京城六一九番

女鳩

渡邊默禪

（一四三）大悟

この大きな自然の懐に抱かれて悲美のかゞやく靈氣に接吻された時に鳩子は思はず小さな魂を顫はした。お、何といふ荘厳な、崇高な天地の光であらう。

驚嘆の目をつらぬいて來るその光に射られた五體は、忽ちにして肉が溶け纖維が消ね、見る〳〵水晶液のやうな透明な靈體に組織が化つて、背にむくむくと生ねて出た薄い翼が微動する空氣につれ、銀絲をおのゝかすやうな幽かな羽搏の音を立てるやうな心持がした。そして足さへ擧げれば直と地を離れて、金色の日かげを浴びつゝ、飄々として彼の峰の雪の巓から巓へ飛んで行けるやうにも想はれた。彼のアポロの妹アルテミスが、常に高山のなかに隠れて、森の女神と一緒に狩をしたといふ希臘の神話などをふと胸に浮べると、こんな時にその女神が現れて出て、銀の弓を取りながら虚空を踏んで先立するのであらうなど、謡のやうな美しいローマンスも湧いて來る。

しばらく恍乎となつてゐるうちに透徹るやうになつた心の底に何やらさゝやく聲がした。

『お前はこの天地のいかに潤いかを知つたであらう。またいかに美しいかも知つたであらう。お前は今、お前の目に眺めてゐるその天地の潤いやうに、また美しいやうに、お前の心をお前の心で造り易へることが能きないのか。縹渺として涯もなくお前の周圍をつゝんだ青空。それを愛の象として仰ぐことが能きないのか。あらゆる物を掩ひつくして眞白にした峰の雪。それを愛の光として見ることができないのか。優しい瞬きと温かな呼吸とを、凡ての草にも木にも、土にも岩にも平等に無盡藏に投げかけてゐる旭かげ。それを愛の力として讃美することが能きないのか。恥ぢよ、お前の心にかへりみて恥ぢよ。お前は何故、憐れなるほどに小さな、無價値な、人の世の羈につながれて悶ねるのであるか。泣くのであるか。苦しむのであるか。名譽だの富だの、そんなものは何であらう。七十年の人の命や、生に憧れる無明の執着。そんなものはどれほどの關はりをこの宇宙に持つと思ふ。日の出る前に苅りとられた草花の露かげくまで。そんな儚ない人生の夢に何の意義がある。大我に合體した靈の眼をもつて最つと高いところを仰ぎ見げるがよい。命は外にあるぞ。眞は他に實在してゐるぞ。それは愛である。慈悲である。法悦である。宇宙の心である』

その聲が大鐘をたゝくやうにガン〳〵と響き渡つた。鳩子の心はぎりぎりッと弦で引緊められたやうになつた。

『あゝ、爾うだ。確かに爾うだ。私の考は只低いところ〳〵と追つて歩いて、果しもなくさまよつてゐたのだ。世間のおもはくだの家庭の事情だの、そんな現實的な世間的な利害にばかり頓着してゐたから、せなくともよい心配と迷とに囚はれて了つたのだ。間違つてゐた、路をとりちがへてゐた。爾うだ。私の信仰にかへりませう。さうして私の信じたまゝを行へばよい』

悟つたやうに領くと、急に豁然となつた頭腦のなかに、ぞくぞくするほどの歡喜の情が漲つて、其處に無限の新らしい力が生れて來たやうに覺ねられた。

かくして頓かに灰色の憂鬱の夜から呼醒された彼女は、いきなり縣崖の雪を辷り落ちた。そして胸一杯の光を抱いて飛ぶやうに小舍に歸つた。見ると父を始め、みんなが起きてゐて朝餐のまどゐに著かうとする所だつた。

彼女は快活に『お早う』と挨拶をするが早いか、階の窓下に驅け寄つてトランクを机の代りに急いで萬年筆の鞘をはらつた。

西洋料理、すき燒、ハイカラ丼　おいしい京城第一とお高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

新刊紹介

▲生死透脱 禪と武士道（飯田默叟著）筆者は前曹洞宗定門の如何なるか是れ禪に起し參禪の意義心得より人格、精神の修養を説き中篇武士道門に入りて武道の精神、歴史を初め禪と武士道との關係影響及び禪林、武門の逸話言行を叙し後篇應用門に至つて國體の精華、浩然の氣等に就て語り進んで禪的處世法より禪の教理と儒教を論じ以て生死岸頭に自在を得るの道を訓へたり行文平明趣味津々、處世の要訣なるべく安心立命の妙諦たるべし（一圓東京市小石川區原町六丙午出版社）

▲●●●●●露西亞紀行（工學博士西田博太郎著）著者の旅行日誌を主幹として大戰中の露西亞の民情風俗を併せるものにして車中の怪美人、と從の激鬪、露西亞風呂物語、芝居さ活動等數十篇如何にも面白く讀まれたり（五十錢東京市麴町區内幸町一の五日本工業通信社）

▲小學新聞（六）一錢京都市二條堀之道西入共社

▲消防新聞（五）七錢五厘東京市芝區櫻田久保町五共社

▲愛知縣商品陳列館報告（九月號）五錢名古屋市商品陳列館

▲流行（十月號）東京市日本橋區白木屋呉服店

▲養鷄指針（十月號）九錢大阪市南區生野國分町四二重枝養鷄園

▲水產界（十月號）水產、海運、海洋、漁業等に關し專門家又は知名の氏の論説、研究を收めたり（二十五錢東京市赤坂區溜池町一大日本水產界）

愛用者の聲

美顏白粉は、品質が飛拔けて良いので大變な人氣を引き起しましたにつけ、各地の愛用者から贈られた感想を蒐んで茲に御紹介いたします

美顏白粉をお使いになつて（其十）

2576, 130, 18.

六二、あれ性に

東京市芝區櫻田和泉町　上坂ハル子殿

私は大へん荒れ性で困つて居りましたが、去年の夏、友人に勸められて美顏白粉を使て見ますと、今までの幾ら附けてもムラになつたり固まつたりして好く附かなかつたのとは大違ひで、ちよつと顏を拭いたぐらゐでとなく忘れたやうになり、色も白くも非常に能く附き、顏の荒れも何時なりましたので、私は外に斯ういふ白粉が無いことを知り皆さんに美顏白粉を薦めて居ります

六三、手がるに

滋賀縣阪田郡黑田村　山室貞久子殿

私は未だ少女ですから、念の入つたお化粧などをした事はありませんが、美顏白粉だけは少しの骨折もなく、手がるにお化粧が出來ますから朝夕缺さず使つて居ります。それ故冷い風にも少しも肌が荒れず、毎もすべ〳〵と、色艷もよく、此頃では非常に生地まで綺麗になつて參りました。洗面、浴後には、此白粉をムラなく附けて、美顏水でおさへます。斯うして打粉で輕く仕上げたお化粧ぶりは、生れつき色白の地顏のやうで眞に奥床しく上品でございます。

六四、初秋の夕

京都市上京粟田口町　藤田章子殿

お湯から上つて緣に出ますと、初秋の風が上氣した頰を撫て行きました『ほんとうに美顏白粉は能く附きますこと。今では是れが一等だね』『御覽なさい、章ちやんの此頃綺麗になつた事は何うでせう』座敷の方で母と姉がこんなことを話してゐるのが聞ねます。私は思はず今美顏白粉でお化粧した顏を撫でました。これまでの荒てざら〳〵した皮膚と違つてそれは實に氣持のよい。柔かな滑かな皮膚でした。獨りでに滲れる微笑を打圍んで床しい懐しい美顏白粉の香が何だか夢のやうな思を誘つて來ました

六五、化粧下手にも

岡山縣勝田郡黑坂　下山あさ子殿

忘れもせぬ去年の三月三日のお節句の日でした叔母樣がお出になつて

六六、美身劑式白粉

靜岡縣新竹郡柏林文臣　佐藤きみ子殿

此頃此白粉が大變な評判だから使つて御覽と言つて、美顏白粉を一瓶下さいました。使つてみますと、從來の白粉と違つて、化粧下手な私にも少しも能とらしくなく、思ふ樣に美しく附きましたので、嬉しくて嬉しくて、其れからは美顏白粉ばかりにしました。冷かな今日此頃の風にも少しも顏が荒れないのも偏に博士や學士方の御苦心の御蔭であると深く感謝して居ります

先頃始めて美顏白粉を買求めて使用致しました處、實際今まで使用しゐたる白粉と異なり、ノリもノビも心の儘に上品なお化粧が出來ました。悦しさの餘りお友達にもお進め致して居ります當地の樣な皮膚の汚れ易い熱帶地には斯ういふ美身劑式白粉が殊に適當だといふ評です。良品美顏白粉の益々寶行の盛なる事を祈升

六七、島にゐて

島根縣知夫郡知夫　嶋八重子殿

私は離れ小島に住む女ですが、平生の化粧には、朝夕洗粉で洗つて美顏白粉を薄く附けておきます。するとも日に燒けず、くつきりと垢ぬけ、冬潮水にひたり潮風にもまれても一寸も荒れず、時の外出に化粧しても斑にならず自然にノリ、生れつき白いな色澤になります。美顏白粉故に暴い氣候の中にも美が保たれる事を感謝します

六八、灯ともし頃

大阪市西區阿波堀二丁目　佐藤春子殿

銀糸のやうな小雨の降る灯ともし頃、上氣した頰を押へて鏡の前に立たれ私は、復しても化粧に苦しむのでした。何時か私の眼はうるんで來ました。と、後の襖が開いて、美代嫂樣の毎もながら淑かな姿が現れました。なだらかな女らしい淑かな姿が現れました。後の嫂樣の氣高く美しく、で能とらしい所の無いお化粧振は、品の高い嫂樣のお人柄を一層床しく偲ばせました。私が嫂樣のお薦めで、美顏白粉を使つたのは其時でした。何故早く此白粉を使はなかつたのだらうと、斯う思ひながらも、私は生れて初めて滿足なお化粧が苦もなく出來た事實を怪みさうして喜びました

商業登記公告

朝鮮製絲株式會社監査役中村政次郎ハ大正五年拾月五日辭任シタリ右大正五年拾月拾九日登記

商號新設　商號平山牧場牛乳販賣部、營業ノ種類牛乳販賣、營業所京城府舟橋町參拾五番地商號使用者ノ氏名住所高陽郡崇仁面敦岩里無番地平山政十右大正五年拾月貳拾參日登記

東洋拓殖株式會社總裁吉原三郎ハ大正五年拾月貳拾壹日願ニ依リ總裁ヲ免セラレ同日京城府永樂町貳丁目六拾九番地石塚英藏總裁被仰付就任シタリ右大正五年拾月貳拾四日登記

京城地方法院

京日案内

普通

◎貸家　土地高燥日當良く諸設備完全の平家建最上等貸家二棟家賃四十圓三十五圓電二二九番櫻井町日拔の場所旅館貸席其他何に適する　（姓名在社）603

◎貸家　家主歸國に付居拔の儘五十圓讓る

◎現在經營中の月收百五十圓以上ある事業擴張の必要あり資本家を望む（姓名在社）609

◎貸家　溫突付日本建三坂通官吏別莊的眞龍山印刷局先　營理人黃金町三丁目三〇白井商店　606

◎石油大賤賣　京城黃金町三丁目三〇白井商店　605

▼立川文庫が（但し本券切拔持參）一册十五錢　本町二丁目ツツボヤ　427

◎古本高價買入　京城本町三丁目東京堂書店　446

狂犬病豫防注射◎本町三の十七番地高木獸病院　581

入院料一日五錢　電話取次一一四一番

▼姙婦産婦預り所（喫川賃宿）錦城醫院内　宮良トシ　京城北米倉町電話五九五番　573

◎店員入用　年齢十八歳以上右至急入用　仁川寺町高野酒造場　602

◎嘱託外商員募集　希望者は至急申込相成度　永樂町二吳孤兒院京城支部　601

◎八疊及び四疊半あき間あり　電話二千三百六十九番　599

古本なら野村　明治町筋電二六三六　買入誠實御報參上　431

◎金融　月收の御方へ秘密信用融通　便宜立替御報伺又御來談　大和町三ノ三二（柄澤前）起木屋　597

◎金融　月收の方に秘密信用貸又は立替等御報に伺上來談に応　本町電車終點花園町部大和屋質店　587

番外

貸家　京城永樂町二丁目七番地　日本建平家五疊間取八疊四ツ六疊三ツ四疊半六ツ三疊二ツ　京城本町二丁目官吏紳士住宅向　釘本商店

蕎麥店讓　日拔の場所老店合により諸道具電話附讓り渡す希望の人は至急申込あれ　京城旭町三丁目電話一三〇八　開盛庵　590

京城春川間每日自動車定期往復京城春川間每日午前八時出發　南大門通一丁目　廣橋自動車　主務金正淵　電話二一九番　428組

▲細叺莚造用品販賣　京城岡崎町　渡邊商店　電話一四五三振替京城八二〇　471

恩給年金立替　即時取引退隱料一切　利子年一割　515

京城櫻井町（大正館向）元祖博多屋本店

骨つぎ　うちみ　くじき　仁壽堂　542

明治町佛國教會前電話五九五　ちゝ治療専門　産婆　荒川元子

▲鑛物分析　種名　京城太平通二の三〇元朝陽分析所　電話二八三三　松永分析所　566

恩給年金立替　即時現金　短期無保險月利二步二厘五毛　京城南大門外（舊御成町）山口屋　567

家具木取　製材乾燥積見積書送る、付次第見積書送る　地材欅栓櫻桂楠其他雜木各種　京城黃金町三井物產前　◎本明雜木製材所　販賣注文は圖面送付　585

恩給年金立替　月利壹分即金　薩質掛引なし秘密嚴守　497

京城若草町通中央郵便ポスト前　西村商會

鑛物分析　金石商會　京城鐘路二ノ九九

鑛山測量（電話一八九九）夫れ夫れ専任技師に依り正確迅速　603

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

大阪屋號書店　新刊書御案内　同短歌日記　大正六年當用日記　窓のさゝやき丘の蛙　何處へ　スボルジョン說教集　人生百不思議　江島生活　愛染集　駒形より　ゆかり文庫　土　機略縱橫　人生向上悟りの道　電氣用語解　千の致富術　米國々民性　最新式辭と演說　水戸　優良町村の新研究　家庭醫學

M印　品質本位　ゴム

京城本町二丁目　日韓書房　新刊書案内

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　立神丸　十月卅一日後十時出帆
小倉丸　十一月二日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　立神丸　十一月一日後四時出帆
小倉丸　十一月二日後六時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
門司、宇品、神戸、大阪行　第三栄平丸　十月廿八日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天與丸　毎月二日八日十四日廿日廿六日午後十時出帆
釜山港立新町　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸　十一月三日
君が代丸　十一月廿七日
神代丸　十月廿九日
秀吉丸　十一月三日
仁川港　杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛莊行
相模丸　十一月九日　正午出帆
三河丸　十一月廿一日　正午出帆
砂丸　十一月卅日　正午出帆
仁川　堀回漕部

大邱浦項間自動車時間

大塚農場自動車部　大邱出張所

金泉醴泉間自動車時間

金泉織居自動車支部

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神阪行　十月三十日
天草丸、安東丸、鹿島丸　十一月七日　後五時出
信濃川丸、木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
潮州丸、福州丸　群山、釜山、橫濱行
南浦丸、日本丸、鎭南浦、大連行
京城切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店

朝鮮郵船仁川出帆

共同丸　十月廿九日後四時入港　十一月一日正午出帆
野口商會　京城取次店　河村運送店

金泉丸、京畿丸、黃海丸、成鏡丸　釜山發
隱岐丸、昌平丸、咸鏡丸　元山發
第二清津丸、忠清丸、平壤丸　元山發
德丸　釜山發
江陵丸、瀛陽丸　釜山浦項發
三浦丸　釜山發
濟州丸、統營丸　毎日　釜山發
順天丸、慶興丸、慶尙丸、公州丸　木浦發
宗信丸、江原丸、晋水丸、麗州丸　仁川發
全州丸、南陽丸　仁川發

商況

大阪期米

二十六日の十二月限